

幼 兒 教 育



第 七 號 七 月 第 四 十 卷

東京女子高等師範學校內

日本幼稚園協會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

(再版)

觀察の實際

菊判 一三〇頁

定價 金壹圓

送料 東京 金六錢
市内 金六錢
其他 金九錢

○觀察の實際については何か参考したいといふ御希望は皆様から常に同ふ所、本書はその爲に最も適切親切なる書である。

日本幼稚園協會編

幼稚園談話集 (四版)

菊版 三五〇頁 定價 金壹圓五拾錢
送料 市内 金六錢
地方 北海道・臺灣・樺太・朝鮮・滿洲 金拾五錢

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

系統的保育案の實際 (四版)

定價 金壹圓
送料 金六錢

幼兒の教育 (月刊)

一ヶ月 金參拾五錢 送料 金一錢
一ヶ年 金四圓貳拾錢 送料 共

文部省主催保育講習に就て

期 間 自七月二十二日至同二十六日(午前八時より正午まで)

會 場 東京女子高等師範學校(東京市小石川區大塚町三十五番地)

講習員資格 幼稚園保姆及幼稚園關係者

講習員定員 三百名

〔注意參考〕

- 一 講習員ハ一人ニ付約金七拾錢ヲ要ス
- 一 講習員ハ上履、官製古端書三十枚、クレヨン、鋏、糊、鉛筆、物指ヲ持參スベシ
- 一 講習員ニシテ學校寄宿舎ニ宿泊ヲ希望スル者ハ七月十五日マデニ該校寄宿舎宛申出ヅベシ。
- 一 食事(晝食ヲ除ク) 舍費ヲ併セ一日ニ付金壹圓五拾錢ノ割。尙敷布ハ各自持參ノコト。

〔取扱上ノ注意參考〕

- 一 講習員ハ地方長官ニ於テ選定ス
- 一 地方長官ハ講習員ヲ選定シタルトキハ選定書ヲ七月十五日迄ニ到著ノ日取ヲ以テ會場校長宛竝ニ文部省宛提出スベシ
- 一 講習員ハ午前八時マデニ會場ニ出頭シ出席簿ニ捺印スベシ
- 一 前講選定ニ對シ何等ノ通知ナキトキハ受講ヲ許可セラレタルモノトス
- 一 講習修了者ニハ其ノ出席日數等ヲ査案シ修了證書ヲ授與ス
- 一 講習ニ要スル印刷費其ノ他雜費ハ講習員ノ負擔トシ開會前ニ之ヲ納ムルコト

○緊急御注意

本年の文部省主催の保育講習會は官報による告示が或は多少遅くなるかも知れないといふことでもあります。しかし、府縣廳には、特別の扱ひを以て、七月上旬には文部省より通告せられる筈でありますから、官報告示を待たず地方當局より出席の選定を受けられるやう、迅速なる處置を講ぜられたいと思ひます。官報告示を待つて後手續を執られる時、期日に間にはなくなるこいふやうな遺憾のここのないやう、特に當局の諒解を得て、本會より豫め御注意申上げて置きます。

本年度の文部省主催保育講習は右の通り東京に於て開催せらるゝことに決定、講習科目及び講師は、(一)國民學校と國民幼稚園(倉橋惣三氏)。(二)幼兒の衛生(荻原兼文氏)。(三)物資活用手技(及川ふみ氏)。(四)建國童話の實演指導(久留島武彦氏)。に豫定せられてゐる由であります。新らしき國民學校への關係に於ける幼稚園の新検討の必要緊急なるは申すまでもなく、時局下に皇紀二千六百年を迎へて建國童話の研究は一層の意義を深くし、國民練成の第一義としての幼兒保健問題は一段と深刻化し、手技の實際に於ける物資問題の新考案は益々急務となり來つてゐます。此の多事多端裡にあつて特に保育講習を開催せらるゝ文部省の深き趣旨に對し、全國幼兒保育者諸君の、感激と熱意とを以て多數出席せらるゝことを信じて疑ひません。

昭和十五年六月

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

本會夏期講習會

本年は文部省保育講習が七月二十二日より二十六日まで東京女子高等師範學校に於て開催せられる事になつて居りますので、その午後後に於て本會主催左記講習を催します。

期日 自七月二十二日 至二十五日(四日間)午後一時より四時まで

場所 東京女子高等師範學校

講師

新唱歌 新振付 幼稚園遊戯(實習)(十二時間) 東京女子高等師範學校教授 戸倉ハル君

戸倉講師の遊戯指導に於ける盛名は更めて申すまでもなく、殊に本會講習のために拂はるゝ特別な熱心と周到とは、毎年會員諸君の十二分の御満足を得らるるところであります。

本年は更に多數の新作唱歌と新作振付の發表が盛られて居り、その新唱歌はフレール賞當選の創作を始め本會として新主張のもとに保育界に提供せんとするもの、中山晋平氏梁田貞氏その他いづれも權威ある諸大家の作曲と戸倉氏苦心の振付を以てせるもの、全國幼稚園に普く用ゐらるゝことを期待してゐるものであります。多數會員諸氏の奮て御参加を切望します。

遊戯實習の服装は、洋服或は袴着用、靴穿きを嚴守して下さい。

會費 金 參 圓 (會費拂込後は御參否に不拘返戻いたしません)

申込 御希望の方は七月十五日までに本會講習會係宛(東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校内日本幼稚園協會)に講習料を添へお申込み下さい。
御住所(受信所、奉職所名)必ず御明記置き願ひます。講習料のお拂込みは振替(東京一七二六六 日本幼稚園協會)を御利用下さい。

宿 泊 講習料の受領證にかへ、會員證及び汽車汽船割引券を御送附しますから、御申込の振替口座又は爲替に、御送り先(縣、市、町、番地)と御姓名を詳細に明瞭に御記入置き下さい。本校寄宿舎(當構内)で女子に限り宿泊の御便宜を計ります。(文部省主催講習會員及び日本幼稚園協會講習會員共)費用一泊金壹圓五拾錢(二食つき)宿泊料は御入舎の上でお支拂ひ下さい。前以つての御支拂はお断りいたします。

鐵道割引特典 汽車賃五割引 汽船賃三割引

○ 御 注 意

文部省主催保育講習會御聴講手續については七月下旬の官報を御覽下さい。つまり府縣廳へ願ひ出られて推薦せられる順序です。本年は或は官報告示の日がおそくなるかも知れませんが、その點お含みの上豫め府縣廳のお係りの方へ御希望申出で御交渉置き相成るが便利と存じます。

文部省主催講習會と日本幼稚園協會主催講習會とは全く別の主催でありまして文部省主催講習會の御聴講は地方長官を経て正規の手續をなさなければ出来ません。本會へ御申込になりましてもお取次ぎ致すことは出来ません。右念の爲め御注意申上ます。

昭和十五年六月

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

倉橋惣三編 (新刊)

新體幼稚園唱歌

四六倍判
定價(送料共)
金七拾錢

目 日本の旗日の丸の旗
倉橋惣三 作曲
小松耕輔 作詞
交 道ぶしん
倉橋惣三 作曲
井上武士 作詞

いうびんやさん
倉橋惣三 作曲
弘田龍太郎 作詞
渡し場の船頭さん
倉橋惣三 作曲
中山晋平 作詞
火消しのちぢさん
倉橋惣三 作曲
小林つや江 作詞

日本幼稚園協會編 (新刊)

幼稚園新唱歌

四六倍判
定價(送料共)
金五拾錢

目めだか
山松耕輔 作曲
小松耕輔 作詞
交 雨
杉山米子 作曲
小松耕輔 作詞

ほたる
青山綾子 作曲
小松耕輔 作詞
ふしん場
氏原張 作曲
小松耕輔 作詞

この二つの新刊幼稚園唱歌集は、幼稚園の爲に新しい歌曲を求めて居らるゝ方々に必ずや充分歓迎せらるゝことを期待してゐる。

第拾貳回保育夏期講習會

主催 佛教保育協會
後援 佛教各宗々務所

本會主催保育夏期講習會は皆様の御援助により昭和四年創立以來毎夏一回も休まず早くも第十二回を迎へました、然かも昨年は定員を超過すること百數十名に及び全く感謝の外ありません。就ては本年の講習の特色をいたしましては

一、講習科目中に明年度より實施の國民學校と幼稚園との關係に重きを置いたこと
 二、會場を交通その他に最も便利な帝都の中心地「銀座」に選んだこと
 三、本年より鐵道五割引の特典を受けたこと
 等であります。いづれも「皆さんの講習會」といふ氣持より決定した次第でありまして本年も何卒多數御誘ひ合せの上御來會の程お待ち申しております。

要 項

一、期 日 昭和十五年七月二十七日より三十一日まで五日間
(毎日午前八時より午後四時まで)

一、會 場

東京市京橋區西銀座數寄屋橋畔
（市電、市バス、青バス、地下鐵、銀座下車、約一丁）
 數寄屋橋（日本劇場前）下車
 東京市立泰明尋常小學校
（省線：有樂町驛下車、約一丁）

一、講師及科目

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 一、國民學校と幼稚園との連絡 (二時間) | 東洋大 學 教授 關 寬 之 先生 |
| 一、興亞教育の眞髓 (二時間) | 本會中野保姆養成所 校長 朝 倉 曉 瑞 先生 |
| 一、幼兒と榮養 (二時間) | 前京都女子專門學校 校長 佐 伯 矩 先生 |
| 一、幼兒と體育 (二時間) | 國立榮養研究所 長 三 橋 喜 久 雄 先生 |
| 一、童畫の導き方 (二時間) | 醫學博士 板 倉 賛 治 先生 |
- 東京高等師範學校 教育

保育夏期講習會

皇紀二千六百年聖戰第四年の夏を迎へ、銃後を護る者の任務益々重大の折柄、幼児保育に携はる者の時局に對する正しき認識と、確固たる信念と優れた技術とが實に必要である事を痛感致します。本所はこゝに第三回保育講習會を開催し、非常時下幼児保育に精進せらるゝ保姆諸姉に、多少なりとも貢獻せんとするものであります。奮つて御参加あらん事を切望致します。

昭和十五年七月

主催 帝都教育會附屬教員保姆傳習所
後援 帝都教育會附屬教員保姆傳習所 保 姆 科 同 窓 會

要 項

一、期 間 昭和十五年七月二十八日ヨリ三十一日マデ四日間

(毎日午前八時より午後四時迄)
(東京市小石川區竹早町八番地)
(市電、市バス 同心町下車)

一、會 場 東京府女子師範學校講堂

一、科目と講師

(一) 今日の幼兒を如何に保育すべきか (二時間)
東京府女子師範學校教諭 野 口 廣 信 先生
帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師
非常時の保育に就て保育者は如何なる考へを持つべきかと言ふ事を御指導下さる事になつて居ります。

(二) 子供の世界 (二時間)
東京府女子師範學校教諭 中 野 佐 三 先生
帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師
保育に新しい途を見出すには子供の世界の特徴を考察する事が先決問題であります。このために子供の世界について分り易く御指導下さる事になつて居ります。

(三) 時局を取り入れた童話の作り方 (二時間)
東京府女子師範學校教諭 井 部 正 先生
帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師
正しい時局の認識を幼兒に與へる事が保育者の急務でありますので、今年は特に此の問題に就き懇切に御教示下さいます。

(四) 幼兒の體育 (二時間)
厚生省體育官 森 秀 先生
保育に於ける體育は今こそ眞剣に考ふべきであります。此の問題に就き特にお話し下さる事になつて居ります。

(一) 幼兒と傳染病 (二時間)

警視廳防疫課長 井口 乘海先生
醫學博士

(二) 自由遊びに就て (二時間)

帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師 松石 治子先生

(二) 略畫の描き方 (二時間)

東京府女子師範學校教諭 八木 悌二先生
保育上最も痛感する略畫の描き方に就て、今年は更に多くの種類に互り親しく御指導下さいませ(畫用紙とクレヨンに御用意下さい)

(二) 幼兒に喜ばれる新手法の實習 (二時間)

東京府女子師範學校教諭 宮内 重利先生
帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師

(二) 音樂

一、童謠の指導法 (二時間)

東京女子高等師範學校教授 平井美奈子先生
幼兒にふさわしい可愛い、曲を御指導下さいませ。

一、新作童謠の歌ひ方 (二時間)

帝都教育會附屬教員保姆傳習所講師 大和田 愛羅先生
幼兒に喜ばれる新しい童謠を撰んで其の歌ひ方を御教へ下さる事になつて居ります。

(二) 童謠舞踊 (六時間)

島田 兒童舞踊研究所長 島田 豊先生
舞踊界の權威として定評ある先生が、特に幼兒向の振付を發表される事になつて居ります。

(二) 幼兒と詩、其他保育上有益な講演があります(交渉中)

一、講習料 金參圓也 (出席の際御納め下さい)

一、資格 保姆竝に幼稚園關係者

一、定員 參百名

一、申込所 東京市小石川區表町八十八番地 帝都教育會附屬教員保姆傳習所
保育夏季講習會事務所(電話小石川 二三七番)

一、申込期日

七月二十五日迄(但し定員超過の場合(前日に締切ることがあります))

一、宿泊

宿泊御希望の方には宿舎を御世話致します。早目に前以て御申込下さい。

一、講習證

講習修了の方に授與致します。

第二回 保育問題夏季研究講座

趣旨

東亞新秩序の建設、聖戰の完遂は、次代を擔ふ幼児の運命にかゝつてゐることです。その幼児の保育に當る保母は、自らの使命に光輝ある歴史的意義と信念をもち、たゆまぬ努力向上にいそまねばなりません。われは微力ではあります、それに少しでもお力添えができればといふ氣持で、こゝに第二回保育問題夏季研究講座を開くことに致しました。従來の夏季講習會の型を破つた新しい試みは、必ずや眞實をもとめてゐる皆様の要望にピッタリと合致することとせう。

講座

幼児教育が今後進まねばならぬ方向を中心に、いろ／＼考へたいと思ひます。

國民教育と幼児教育

法政大學教授 城戸幡太郎先生

保母と母親

作 家 村岡花子先生

女教師の立場から

第四日野小學校 平野婦美子先生

幼児の感情と性格

愛育研究所 山下俊郎先生

童畫と漫畫 (交渉中)

漫 畫 家 横山隆一先生

研究發表會

保母としての教養を高めるためにも、日本の幼児教育の水準を高めて行くためにも、お互の研究や實踐を交流し合ふことが必要です。そのために、現下の重要問題を選び四つの研究發表部會を設け、他に一部會を一般自由題のために當てました。それ／＼本會の指導者の方々に司會を願ひ、更に研究發表の後で講評を兼ねて特別講演をして頂きます。研究發表希望者は、題目明記の上、至急お申込み下さい。

一、健康保育司會

愛育研究所 齋藤文雄先生
保健部長 醫博

二、兩親教育司會

愛育研究所 山下俊郎先生
教養相談主任

三、問題兒司會

東京農業教育 青木誠四郎先生
専門學校教授

四、觀察司會

成蹊學園 栗山重先生

五、自由題司會

愛育研究所 三木安正先生

協議會 さきに教育審議會の「幼稚園に關する要綱」の答申があり、一方保育所令制定要望の聲が擧つてをりますが、われわれも、人的資源の涵養、皇民の鍊成といふ立場からこの問題の再検討に着手し、既に本會内に「就學前教育制度研究委員會」を組織して研究を進めてをります。この國策的問題を選んで協議會を開くことにしました。

就學前教育の問題

司會 本會々長 城戸幡太郎先生

文化映畫の夕

保育の問題を扱つた文化映畫も追々現はれてをりますが、これをまとめて鑑賞する機會は中々ありませんので、一晚「文化映畫の夕」を催すことに致しました。

期日 七月二十五日より二十九日まで

會場 法政大學 (省線・飯田橋又は市ヶ谷市電・新見付又は一口坂)

定員 三百名

會費 三圓 (但し夜間のみ、晝間(のみの場合は半額))

申込 〇東京市麹町區富士見町法政大學 兒童研究所内

保育問題研究會宛

〇申込期日は七月二十三日まで

〇申込と同時に會費納入のこと、拂込はなるべく振替口座で 振替口座 東京六七七五五番

〇申込の折、お忘れなく住所(東京の宿所決定の方は併記)勤務先・姓名を書いて下さい。

〇詳細は本研究會宛御照會下さい。

日程表

日九十二	日八十二	日七十二	日六十二	日五十二	
自由問題	研究發表會 問題兒	健康保育	研究發表會	研究發表會	午前九—正午
協議會	研究發表會 觀察	兩親教育	研究發表會	研究發表會	午後一—四
文化映畫の夕	講座 横山先生	講座 山下先生	講座 平野先生	講座 城戸先生 村岡先生	午後六—九

新刊

倉橋惣三作詞
小松耕輔作曲 戸倉ハル振付
日本の旗 日の丸の旗

色刷表紙四六倍判音譜及び振付
説明
定價 送料共 一冊 金參拾錢
前金(振替或は參錢郵券)を添へ
冊數及び送先き明記申込次第直
に送本す

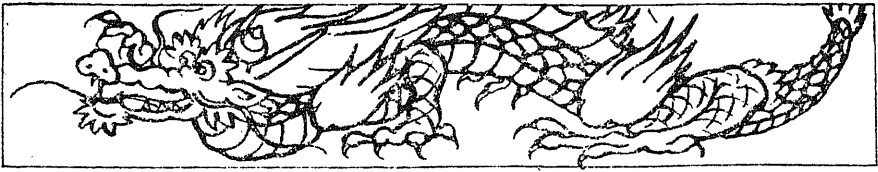
此の時局、幼兒兒童に何を唱はせませうか。どんな遊戯をさせませうか。本會は、今日此の新しい唱歌と遊戯とを全國の幼兒兒童の前に贈り得ることを最も欣快とするのであります。願はくは、皆さまのお力添へを俟つて、幼稚園に、學校に、家庭に、街頭に、津々浦々に、此の唱歌遊戯の流布を見るに至り得んことを。之れが本會の遠慮のない望みであります。

尙、此の刊行によつて得た金額は、國防費に獻金致したく、既に金百圓を獻金致しました。どうぞ此の趣旨にも御共鳴下さつて、尙ほ一冊でも多くお購求下さい。又廣くお勧め願ひます。一冊の御購買は即ち同時に國防獻金となるのであります。若し各幼稚園が此の意味に基いて、取りまごめて御註文下さるようのごまごめて頂ければ、此の上ない幸であります。そのために表紙も美しい色刷りの家庭向きにして置きました。右本會の二つの希望を御協賛願ひます。

發行所

日本幼稚園協會

東京市小石川區大塚町三十五
東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
振替口座東京一七二六六番



第十四卷 幼 兒 教 育 第 七 號

目 次

屏	保姆養成の主要點……………	倉橋惣三(一)
	兒童研究法講義(三)……………	松本金壽(三)
	夏季の幼兒衛生について注意すべきこと……………	齋藤文雄(九)
	七月の幼兒童謠……………	葛原しげる(一四)
	七月の保育……………	及川ふみ(二五)
	フレibel賞入選童話・童謠	
	童話 鼠さんのお引越……………	相田多惟(天)
	逃げない小鳥……………	佐藤久子(壺)
	童謠 ダルマサン……………	楠正子(天)
	お洗濯……………	相田多惟(天)
	汽車……………	七田千草(四)
	雪よ降れ……………	辻繁(四)
	煙……………	津村滿喜子(四)
	春……………	吉田トミ(壺)
	お相撲……………	神保正世(壺)
	幼稚園の唱歌について(座談會)……………	(壺)
	幼兒の母……………	(壺)
	第八回全國幼稚園關係者大會報告……………	(天)

石 森 延 男 著

東 京 市 神 田 區 神 保 町 三 丁 目 一 九
大 阪 市 住 吉 區 北 田 邊 町 三 〇 六

横 山 書 店

幼 な 子 へ の お 話

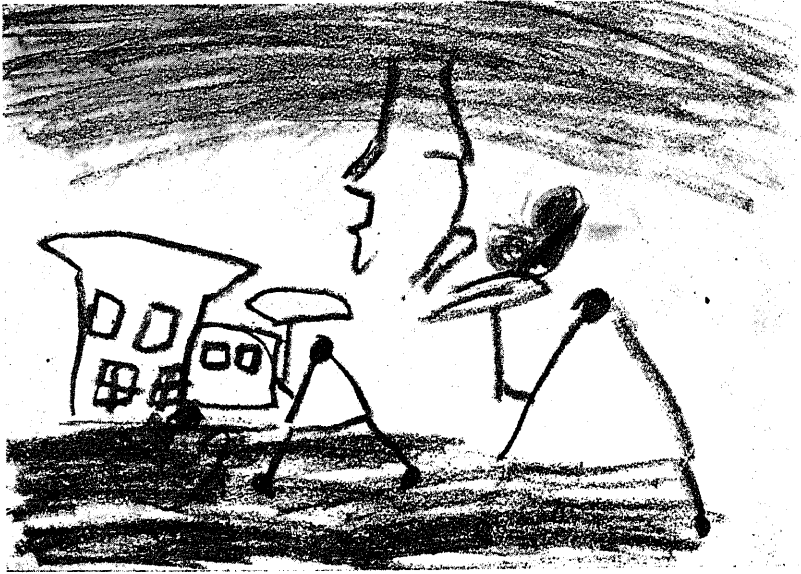
四 六 版 二 百 五 十 頁
色 刷 美 術 插 繪 八 葉
裝 禎 瀟 洒
Y. 1.60

お母さんや幼児の先生方は、お子さんたちから、お話をせがまれないでせうか。お話がなくなつてお困りにならないかしら。そんな時には、どうすればいいのか、どうすればお話が作れるやうになるのか。この本は、そのことについてわかりやすく丁寧に書いてあるそれは美しい手引書であります。

推 薦 の 言 葉

倉 橋 惣 三 先 生

お母さんにお話をきかせていただくことは、子ぎもの大きな幸福である。しかもその幸福は、お母さんの方に、もつと大きいかもしれない。この幸福に気がねしてゐるお母さんが必ずしも少くない。「お話をしらないから。」そんなことに氣おくれしては、わが子の求める幸福を興へかねたり自分の幸福を我さうけかねたりしてゐる。「お話なんてそんなにむづかしいものではありませんよ。」さいひながら、にこやかに相談相手にならうとしてゐるのがこの本である。本書が、お母さん方の幸福を増すことを疑はないと共に、幼児の先生にも、姉さんにも、ぜひ薦めたいと思ふのは私ばかりではあるまい。



マントと傘とが、雨の日の全部で、顔なんかあってもなくてもいゝ。その傘の上に雷が鳴つて、目を閉ぢても黄色の光がきらつとす。その時の自分は、雨にうたれてぬれてゐる黄い蝶に同じい。その同じい黄蝶を傘の上に、稲光りの黄の中にあり〜と幻想する。——幼児の繪は屢々理屈では解けないし、解き捨てゝもならない。

(倉橋生)

保姆養成の主要點

倉 橋 惣 三

教育は人にあり、教師の養成を第一とするこゝは言ふまでもない。保育に就ても亦全然同様である。しかもその點に於て、我國の現状は甚だ力の入れ方が足りない。修業年限一ヶ年を以て足れりとするは、即ちその不熟意を一番明示してゐる譯であるが、さて内容に於て、何が最も力を入れらるべきかといふこゝは、いろ／＼に考へられないこゝもない。或は心理學的教養に、或は生理學的教養に、而して、それらのいづれかを特に主要素とする保育性に於て教育せられなければならぬこゝが論ぜられる。又更に、社會的にいふこゝも一つの強要點である。教育者といふよりも社會保護者としての任務に重きを置かうとするのである。又、或は保育實際のそれ／＼に熟練することを急務とする考へ方もある。勿論、保育は一つの術でもある。その術の習熟の必要は言を俟たぬのである。しかし、保姆養成の主要點は別にある。その人柄の陶冶である。

教育に於ても、その人柄は極めて重要である。しかし、保育に於ては、それが、それと比較にならぬ程重要である。保育はつまりは人柄による教育だからである。

さて、その人柄の陶冶のためには、所謂狹義の教師養成の方針だけでは出来ぬところがある。學問だけで人柄は出来上らないからである。但し、保育實際の習熟は、實はその人柄を練成するの途ともなる筈のこゝであつて、保育實際の大切さは、術の習熟よりも寧ろ人柄の練成にこそあるといつてよいのである。しかし、何分相手は幼児である。ついラク／＼と自己の身勝手に慣れた保育ばかりして、自己を省み、自己を訂正するといった風のこゝは出来なかつたりする。そこで、保姆養成には、直接に人柄を養ふ方法を講じなければならなくなる。

それは何か。つまりは人間としての教科である。思想が教へたい。藝術が與へたい。哲學が與へたい。詩が與へたい。

それはよく選ばれ、よく與へられて、その人柄を直接に肥えしめるものでなければならぬのは勿論である。思想家として、藝術家としての教育をしてるのでないことは勿論だからである。

今日の我國の保姆の中には、學者もある。熟練者もある。がしかし、それが皆人柄に於て豊富な教養をもつ人のみさはいへない。そこに幼児保育界の、何んさなき調子の低さもあるのである。色調のかすかさもあるのである。保姆は幼児を指導するもので、自ら幼児であつてはならない。しかも往々にして、教養上の幼児であつたりする。童話があつて文學がない。童謡があつて音楽がない。子ぎもらをして、親しませるものがあつても、崇敬せしめるものがない。それだけの人柄の充實がない。

保姆養成に、少くも二ヶ年を要求する理由の一も亦こゝにある。その加へらるゝ一年を以て學科の程度を高くし、又種類を多くするばかりではない。あの大切な年齢に於ける教養を深からしめて、その人柄を高くしたい爲である。その爲に或は日常の保育と直接に結びつかない教養が加へられるかも知れない。しかも、そうしてこそ、始めて人柄が養はれるのである。文學を教へたい。思想を教へたい。つまり、教師用以上の文化が與へたいのである。

教育が高等になり、専門になれば、知識そのもの、技能そのものが、分科して與へられてそれで濟むことが多くなる。幼児期ではそれが許されぬ。教師の人柄を以て教育せられなければならぬことは、蓋し最も大きいのである。今日の保姆養成は、それにたえる保姆を養成し得てゐるか。

年限を二ヶ年にし、三ヶ年にして、それを補ふことも最も望ましい。しかし、假りに現狀の一ヶ年のまゝにしても、之れが主要點たることに變りはない。否寧ろ、却つて多くその點に留意せられなければならない。保姆養成は職業教育であるには相違ないが、その職業は人間職業である。即ち、どんな人間を養成するかさいふことこそ、保姆養成の主要點となるのである。しかも、現在の保姆養成所の學科課程で、それをさに見出せるか。修身の一科が、それを引受けるか。それは、少くも現狀ではない。そうするに、さの學科に俟つべきか。何んさいふ空乏であらう。尤も、教育は科目ばかりでしてゐる譯でもない。一つに現狀のまゝにしても、此の主要點は、保姆養成の全面に於て、豊かな供給をせられなければならない。それが、保姆養成所に溢れてゐなければならぬ。そうであれば、そこでは、保姆養成の主要點が缺けてゐないことになる。しかも果してさうなのであらうか。

兒童研究法講義 (三)

第四高等學校教授

松 本 金 壽

事實の蒐集

兒童の研究を云つても、實際にこれを行ふ場合を考へてみますと、常に兒童の何かの方面についての研究である筈です。大きく分けるならば、兒童の精神發達の問題と身體發達の問題と、更に細く分けるならば、兒童の動作とか言語とか思考とか、或は身長とか體重とか肺活量とか、跳力とか等々を云つたやうな、何か具體的な問題が直接の研究對象として擇ばれるのが普通で、一遍に兒童の全貌を明かにするを云つたやうな蟲のいゝ研究法は科學の領域では成立致しません。そんなわけで、兒童研究法は何か兒童の具體的問題に關する研究法であるべき筈ですし、教育者が當面する問題も亦、同様だらうと存じます。前回の「兒童

研究法の輪廓」の中で、特に此の點を強調して置いたのも、以上のやうな理由からでした。

然し、それだからと云つて、兒童研究法は凡てが具體的個別的な問題に關するものばかりで、その間に何等の共通性も纏りもないものか云ふと、さうは云ひません。細い點では各個別々の遺口になるのは當然ですが、大筋の點では可なり一致した點が窺はれます。それで初めに先づ、兒童心理學の方法論と教育心理學の方法論との雙方に跨る共通的な要綱について大體の點を記して置きます。一つには、後で具體的諸問題に對する研究法を述べる際出てくる術語等も、斯うした一般的な形の中に觸れて置く方が便宜だと思はれますから。

凡ての科學的研究は事實から出發します。事實に基づかない假定や想像では、結局永遠の混沌であるだけです。

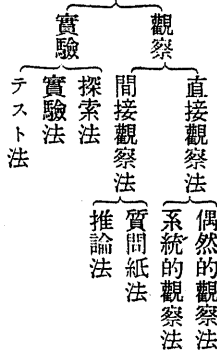
兒童研究法と雖も此の例外ではありません。精神發達の問題にせよ、身體發達の問題にせよ、先づ事實を精確に蒐めなければ研究は不可能なわけです。そして蒐めた事實を精密に記録分類したりして整理するここによつて、初めてその事實の性質が明かになつてくるわけです。それですから、事實の蒐集と蒐集した結果の整理といふことは、どんな具體的問題の研究にも當てはまる共通した手續きと云ふことが出來ます。

斯う申しますと、蒐集が先で整理が後と云ふやうなハッキリした境界が出來てゐるやうに思はれるかも知れませんが、實際にそんなに簡單ではありません。事實の蒐集といつても、漠然と行ふわけではなく、何か或る一定の見方から立場に立つて行はなければならぬわけですが、その際の見方なり立場なりは、夫々の學問的領域で整理された知識が基礎になつてゐます。植物學について何の知識もない人が、いくら草木を蒐めてみたところで、學問的に効果のある發見は期待できないでせうし、天文學に全くの素人がいくら空を眺めてみたところで、そこからは何も出てこないでせう。兒童研究法においても全く同様なことが言はれます。それですから、事實の蒐集といつても、夫々の學問的知識——この場合では兒童學についての一通りの理解——を背景にしたものであるべきだと云ふことを、先づ第

一に申上げて置きます。

二

次に兒童研究法一般、といふよりは兒童心理學の方法論と教育心理學の方法論とに共通する事實の蒐集法とはどんなものか。私はこれを觀察と實驗とに大別し、各々を次のやうに細分し度いと思ひます。



次に夫々の内容の概略を述べてみたいと思ひますが、初めに先づ、觀察と實驗との違ひを述べることに致します。觀察と實驗とは、研究方法としてどんな違ひがあるかといふことについては、今更説明を要しないかも知れませんが、然し實驗に對してはこれまで色々な誤解が持たれてゐました。兒童研究家の中にも、さうした誤解がないと限りませんから、最初にその概念を述べて置かうと思ひます。實驗を以て科學的研究法の最上のもので信じ、兒童研究法も實驗を中心として作り上げられなければならないと思つてゐる私にまつて、實驗といふものの意味や役割をハッキリ

させて、さもすれば持たれる虞れのある誤解や偏見を取り除いて置くことは必要缺くべからざることでせう。

實驗といふのは本來觀察の一種、實驗的觀察の略稱に外ならないのですが、方法論的に云つて觀察と違ふ根本的な點は、觀察の對象——事實蒐集の目標——に人爲的な干渉を加へるかどうかといふ點にあると思ひます。觀察といふのは觀察對象の自然のまま、在るがまゝの状態の觀察なのですが、實驗といふのは觀察對象に人爲的な干渉を加へ、その結果どんな變化が起つたかといふことを觀察するものです。一口に云へば、自然的な場面において事實の推移をみるこゝが觀察であり、人爲的な場面において事實の變化をみるこゝが實驗だとも云ふこゝが出来るでせう。但し、こゝで人爲的といふのは、決して不自然といふこゝではありません。(この點については後で又述べます)これが觀察と實驗とを區別する根本的な要點だと思はれます。

然し、世間ではこの點を勘違ひして、實驗は器械を使ふもの、何か自然の状態を歪めるもの云つたやうな誤解を抱いてゐる者が少くありません。物理學や化學等のやうに物を相手とする自然科學ならいざ知らず、超物質的な人間の生命、殊に稚い兒童の研究に實驗なきは以ての外だといふやうな考へを抱いてゐる方があるとしたならば、これは實驗といふものの意味を履き違へてゐるものです。

先づ器械云々の點からみてゆきませう。器械を用ふるのが實驗、用ひないのが觀察だといふのは、一知半解の知識です。天文學の研究なきでは非常に精密な望遠鏡とか時間測定器等を使つてゐますが、私共は天文學者が天體を實驗してゐるなきは申しません。觀察と同じ意味の觀察といふ言葉を使つて、天文學者は天體を觀測してゐる云ひませう。そんなに精密な器械を使つても、天體の運行に人爲的な干渉を加へるこゝが出来ないからです。それと反對に、遺傳學の研究なきでは、植物の受精花粉の媒介を色々に變へて、二代目、三代目にどんな變化が現はれるかを調べてゐます。有名なメンデルの法則は此のやうな手續で發見されたものですが、何も器械は使はれて居りません。然しこれは立派に實驗と呼ばれてゐます。植物の受精に人爲的な干渉が加へられたからでせう。このやうに、觀察と實驗との區別は器械使用の有無にあるわけではありません。たゞ然し、實驗には器械を使ふこゝが自然に多くなるといふことは免れません。人爲的な干渉といつても、干渉の程度や種類を精確に知る爲には單なる目分量よりも器械による方が有效だからです。

次に觀察は自然、實驗は不自然だといふ誤解を説明して置きませう。この誤解は第一の誤解と密接な關係があり、或は第一の誤解の發展ともみられますが、今以てこの點に

こたはつて實驗を毛嫌ひしてゐる人々を見かけますし、兒童研究法にまつては第一の誤解よりも一層強敵ですから、少し詳しく説明致しませう。レヴィンは私共の行動(Behavior)は自我(Person)と環境(Environment)との機能的關係(Function)によるものである云ふことを、B=I (P=E)といふ公式で現はしてゐます。人は同じでも環境が違へば行動が異り、環境が同じでも人が違へば行動が異なるのだといふことが大體の趣旨です。然し一口に自我と環境とが云つても非常に廣い内容のもので、普通の大まかな分類に従つてみても、自我は知情意に、環境は自然社會・文化に三大別されます。ところで、觀察で得られる事實といふものは、上の公式でのPもEも一緒にしたもので、B即ち行動がどんな事情の爲に起つたものか精確に知るこゝが困難です。何回も／＼も觀察を繰り返して、長期に亘つて得られた事實であつても、依然として曖昧であり、漠然たる性質を免れ得ません。これに對して實驗は、この公式中のPかEかのどちらか——もつと詳しく云ふと、Pの中の或る方面かEの中の或る方面か——を一定にし、他方を色々に變化して、それに伴ふBの變化をみることを建前とするものですから、得られる事實が觀察よりも遙かに明確で一般的になり、法測的な關係に近づくことが出來ます。言葉を換へて云ひますならば、長期に亘る何回もの觀察よ

りも、遙かに適確有效な事實が極く短期間に得られるわけですから、實驗は集約化された觀察をみるこゝが出來ませう。實驗の特色である人爲的干渉といふものが、觀察事實を不自然にしたり、歪めたりすることを目的とするものでないことは大體お分りでせう。若しも實驗が自然の状態を歪ませたならば、それは實驗そのものの罪ではなくて、實驗者の罪だ云ふべきです。

以上で觀察と實驗の區別の大體を述べました。事實の蒐集法として實驗が觀察に優る點は、以上の説明から窺はれたこゝと思ひますが、改めて云ひますならば、次の三點に歸納することが出來ると思ひます。第一に實驗は觀察よりも研究を拂らせませう。觀察のやうに自然の推移を便々待つてゐたのでは研究は却々拂りませんが、實驗は隨時隨處に觀察しようとする現象を作り出してゆくのですから、研究が拂るのは當然でせう。第二に、實驗によつて得られた事實は觀察の場合よりも明確で、個人的色彩と偶然的影響とを越えた一般性を持つてゐます。その當然の結果として第三に、實驗によつて得られた事實は、法則への要約を可能にします。凡ての科學が實驗を最上の方法として擇んでゐる理由がこゝにありますし、實驗が兒童研究法中の最大の武器と稱へられるのも亦同じ理由からです。

等を見てゆかうとする推論法が、直接觀察法の缺點を補ふものとして擇ばれてくる次第です。内申書による成績の査定が此の推論法の一つ云ひます。

このやうに觀察は事實の蒐集法として、重要な役割を持つて居り、決して無價値なきころが大いに有用なわけです。然し前にも述べたやうに、觀察から得られた事實といふものは、さかく曖昧で多義的で、法則としての意味を持つことが少いのです。大體の傾向さか大凡その見當さかをつける程度ならば觀察で得られた結果でも充分に間に合ひますが、あれかこれかといふやうな決定的な問題を解決するのには不向きです。そればかりでなく、今日までなされた夥しい觀察記録によつて、大抵の事實は最早觀察し盡された觀があります。これからの研究は、もつとく精密な法則的事實の探求が第一の問題さならなければならぬ、ここでせう。私が特に實驗の意義を強調し、これからの敘述にも實驗的研究を主としようとするのも、斯うした所を覗つてゐるからです。實驗内容の一例は、次回以後に豫定してゐる具體的問題の研究法に譲りますが、こゝでは探索法と實驗法、實驗法とテスト法の違ひだけを簡單に記して置きます。

探索法も實驗法も人爲的干渉を加へる點では同じですが、探索法は干渉の手段として専ら言葉を用ひ、實驗法は

言葉以外の道具や器械等を用ひるものです。研究者が兒童に問答してゆき、一定の事項に對して兒童がどんな考へを持つてゐるかといふことを突きこめてゆくのが探索法の主眼點で、實驗法が主に兒童の外的行動の變化をみようとするのに對し、探索法は専ら内的世界の扉を叩かうとするものです。

次に實驗法とテスト法の違ひですが、大きく分けるならば、實驗法は一般的法則的事實を目標とし、テスト法は個別的差異的事實を問題とするものだ云ふことが出来ませう。即ち、テスト法では個々の兒童が一般の水準から上か下かのズレを比較したり、或る作業に適當か否かを検討したりして、實際上の問題に直接應用しようとするものですが、實驗法では、さうした價値品等的見地を離れ、或る行動がさうして起るか、又どんな經過を辿るものであるか等の原因又は條件を追求して、事實の理論的構成を知らうと努めます。

幼時の追憶は都合により次號より掲載。又、「ハイデイ」は本號には休載いたします。

【編輯部】

夏季の幼児衛生に注意すべきこと

齋藤文雄

愛育研究所保健部長 醫學博士

一、夏と鍛錬。

夏は身體の積極的鍛錬の時季である云はれて居ます。勿論そうであります。

幼児も幼稚園はお休みになりますし、兄さんや姉さんも學校が休みになりますから一緒に遊んで貰へる時間が急に多くなります。幼児だけの世界よりは學童が混入した世界の方が活潑で積極的です。自然知らず知らずの中に鍛錬される機會が多くなる譯であります。父親も暇が出来たりすれば尙更鍛錬の機會に恵まれる譯であります。

鍛錬誠に結構です。然し乍らこゝに一つ注意して置かねばならぬ事があります。それは子供の健康の程度に應じて鍛錬法を講じな

ければならぬ云ふ事です。元氣潑刺した健康児でありましたら問題はありません。本人の能力以上の身體運動も存外平氣で耐える事が出来るのであります。然し乍ら兩親や保姆の先生が積極的鍛錬の對稱をした幼児は以上の様な健康幼児でなく寧ろ平素さうも弱くて困る云つた様な虚弱者なのであります。この虚弱幼児の鍛錬法は注意しないご失敗します。父親が二週間の休暇を取つた。さあこの機會にこの子を丈夫にしよう云ふ譯で急に運動させる。所が折角の父親の努力にも拘らず一向丈夫にもならず、九月に入るに一番先に風邪をひいて鼻水を出して兩親をがっかりさせる云ふ様な事になり勝ちです。かう云ふ御子さんは寧ろ消極的鍛錬法を奨める方がよろしいと思ひます。即ち環境の變化に依つて健康恢復を亢めてやるのも一つの方法です。海岸にゆくのも、山へゆくのも結構です。單に田舎へ行くだけでも結構です。普段田舎に居る子供でしたら甲の田舎から乙の田舎へゆくの事です。但しこの場合は山地から平地へ、畑ばかりの村から湖の岸へ云ふ風に變化を求めてやる事です。かう云ふ環境の變化そのものが弱い子供の身體に一種の治療的刺戟を與へて呉れるのです。

運動はどの位にするのがいゝか。これは一概に申し上げる事は出来ません。その子その子の疲れぬ程度の最大運動

量を觀測して、それを基準にして臆病に度をましてゆく事です。夏一杯ですつかり丈夫にしよう云ふ様な野心を起してはいけません。すつかり丈夫になればそれで結構ですが、ならぬ方が寧ろ當然、少しでも丈夫になれば位の持久戦でゆく方が安全です。殊にこの事は潜伏結核のある幼児でそうであります。潜伏結核は「ツベルクリン」反應は陽性に出るが現在病氣ではない云ふ様な子供の事であり、九月になりますと毎年結核性腦膜炎で死亡する幼児が幾人か見られます。そう云ふ子供は夏の間餘り積極的な事をして、折角潜伏して居た結核に活動の機會を與へてこんな悲劇を醸し出したと見られる者が相當にあります。暑さは暑し、食慾は減る、睡眠は不充分云ふ時に無理をさせられるのですから、一たまりも無くなるのも考へれば當然の事であり、昨年是小學校の生徒で勤務奉仕の爲め相當数の病人を出した様ですが、これ等も子供の個體云ふ事を無視して、一つ一つ同じ煉瓦の塊りの様な積りで取扱つた結果に他ならぬと考へます。衛生を無視した身體の鍛練は害あつて一利なしです。

一、夏と食事衛生。

夏の食物が衛生上重要な問題となる事は皆さんも周知の事柄で改めて私が茲に申し上げる迄もない事であり、
がよく考へて見て下さい。何故夏の食物はそんなに問題に

なるのでせうか。それは悪い事が二つあるからです。氣温が高い爲めに腐敗し易いので細菌が付き易いので、この二つがあるからです。その意味で新鮮な食品が欣ばれるのです。煮たものがよい云はれるのです。蠅を撲滅せよ云ふのは細菌を持ち搬ぶからです。失禮な話ですが皆さんが厠に金網が張つてありますか。若しなければ便所の蠅は直接糞所へも行くこゝが出来るのです。蠅の足はごの位穢ないものか、電灯の笠を見れば思ひ半ばに過ぎるものがある筈です。赤痢菌、「チフス」菌の様な病原菌も同じ様に蠅の足について歩き廻るので、氣をつけないと大切な御子さんにこんでも無い苦勞をさせる事になります。

幼児では健康ならば夏瘦せはありません。夏瘦せは食慾が衰へるから來るのです。食慾が衰へる原因は大抵、水や麥湯の呑みすぎです。御飯の時にも冷たい水をコップで二杯も三杯も飲みます。これがよくないのです。勿論夏は水分代謝が盛んになりますから水分は十分に補給しなければなりません。併し御飯の時や御飯の前一時間位の間は餘り飲ませぬ事です。飲ませるならば冷たくない、微温湯位又は室温位の水を少々やつて置くのです。水分は食事の間にも餘りのべつに與へぬ方が胃が弱らずに済みます。アイスクリームや氷の様な冷たいものは日中汗がぎん／＼出る時ならば少々與へる事はよろしいでせうが夕方からは絶対に

よくありません。寧ろやらすに濟ます方が安全です。食事は疲勞にも關係します。身體の疲れが激しい時は胃腸の消化も悪いと云ふ事をよく御記憶願ひます。海等で餘り疲れた日の夕食は粥や軟かい副食物を與へて胃腸の負擔を軽くしてやる事は疫痢や急性腸カタルの大切な豫防法です。

齒が悪いと消化が悪くなるのは幼児でも同じ事です。から、そんな子供は夏の間に齒の治療を受ける事が大切です。そんなに攝生しても、三度三度問題になる齒が立派に活動して呉れぬ様なら効果は半減します。齒科醫に相談して助かる齒は皆な治療して置きませう。

一、夏と皮膚の衛生。

幼児の皮膚の衛生は直接間接に健康に影響する事が大きいものです。

夏は幼児も薄着で皮膚を露出して居りますが、一方昆蟲類も澤山活動しますので、蚊蚋蚤等の爲めに思はぬ災害を被ります。刺された所を掻きますから、そこから微菌が入つて腫れたりします。搔く事はやむを得ませんがあこを氣をつけて所謂掻き毀しは大切に取扱つてやる必要があります。最もいゝのは「マーキュロクロム」の様な痛くない藥をつけて微菌が活動出来ない様にしてやる事です。尚ほ所謂「くさ」濕疹も手當を要します。微菌の集になつて毒が身體に廻り悪い病氣を起しますから早く手當をして置く事で

す。

尚ほ日光浴と皮膚の事で一言申し上げますが、夏の陽は日光浴には結構です。海岸で眞黒になる事もいゝ事です。皮膚を日に當てるのは空氣の動き、即ち風に對する抵抗を養ふ目的で、最一つには紫外線を貰つて皮膚で「ビタミンD」を作るに云ふ大切な目的があります。「ビタミンD」は御承知の通り子供の骨の發育には無くてはならぬ大切な「ビタミン」であります。それが太陽の光線に當りさへすれば子供の身體にも忽ち出來てくるのです。結核の子供は直接日光に當てますと却つて病氣が悪くなる事が屢々あります。そう云ふ子供には日光浴の代りに肝油をのませます。肝油

の中には「ビタミンA」と一緒に「ビタミンD」が入つて居ります。肝油は鱈の肝臓の油ですが鱈は誰から「ビタミンD」を貰つたのでせうか。それは鱈が喰べた魚からです。鱈に喰べられた魚は更に小さな魚を喰べてその小魚の「ビタミンD」を貰つて居たのです。その小魚は海の表面に居る「プランクトン」(寒帯の海に多い)と云ふものから「ビタミンD」を貰つたのです。所がこの「プランクトン」といふ藻の様なものに「ビタミンD」を與へたのは實に太陽なのであります。つまり日光の中の紫外線が働いて「ビタミンD」になつたのです。ですから肝油を服むと云ふ事はこれも直さず日光を頂戴するに云ふ事に他ならぬのであります。病氣の子

供は直接に日光を頂戴せずに大變な廻り路をして間接に日光を貰つて居る様なものです。日光浴の大切な所以はこの外にもありますが永くになりますから止めて置きます。

一、疾病の豫防。

夏に流行する病氣で幼児に取つて怖ろしいのは疫痢と百日咳でせう。

幼児をつれて避暑に行かれたりなさる方は先づ百日咳の豫防注射をやつてから出掛ける事です。百日咳と云ふ病氣はあきで非常に身體が弱りまして、よく結核等に活動の機會を與へますので油斷のならぬ病氣です。豫防注射は危険はありませんし、簡單に出来るのですからやつて置く方が安全です。但し百日咳の豫防注射の効果は餘り長くありません。約半年位は效能があるを申されて居りますから「注射はしたが半歳も前だつた」と云ふ様な方も再びやつて置く方がいゝでせう。

疫痢と云ふ病氣は大體赤痢の重いものと見て良い様です。これも豫防薬があります。現在の豫防薬は確かに效くとも云へぬ様ですが飲んでゐる方が罹つた時軽く済むと云ひますから、一度は服用させるがよろしいと考へます。但しこの病氣は黴菌は口から入るのですから、「ワクチン」だけ服んで見ても不養生をして居るのでは何にもならないのです。御飯の前に充分手を洗はせるのも必要な豫防法、暴

飲暴食を慎む事も大切な豫防法であるのです。

赤痢疫痢は幼児が最もひびくやられます。毎年この幼稚園でも疫痢では脅かされます。死亡者の數から申しますと四歳が最も多くそれから五歳三歳と云ふ順になつてゐます。

日射病は幼児では餘り多くはないのですが帽子等お構ひなしで遊び過ぎるを罹る事があります。この豫防には充分に水分を補ふ事が必要です。但し考へて置かねばならぬ事があります。子供でも大人でもそうですが、吾々は汗をかきますと身體の水分をぎんぐ失ひます。然しこの際水だけを失ふかと云ひますとそうではありません。最一つ大切なもの、即ち食鹽を澤山に失ふのです。ですから汗をかいたからと申して水分だけを補つたのでは未だ充分でないのです。水をやると同時に鹽をなめさせる、水で溶いて初めに飲ませる、これが最も合理的な方法であります。あきば身體を涼しくして頭を冷してやる事です。唇が紫色になつたり、痙攣を起したりしましたら醫師の手を煩はす必要があります。

最後に衛生訓練の事について一言申し上げます。

幼稚園や家庭で齒をみがく事、食事の前後に手を洗ふ事おやつは一定の時間以外には與へないことと云ふ様な習慣を、長い間かゝつて養つて來た譯ですが、夏は兎角生活環

境の變化からそう云ふ良い習慣が崩れ易くなります。父母の郷里へミカ、親戚へミカ行きますミ忽ちそう云ふ習慣が崩れてしまひます。これは誠に残念な事でありませう。こゝ云ふ事は泊りにゆく先の家の人々も是非連絡をこつて持續してゆく様にすべきであります。殊に祖父母の許等へ泊りにやる時は家庭も幼稚園ミ協力して、泊り先へ子供の生活訓練を簡條書きにして持たせてやる事です。父母の名前では駄目です。幼稚園なり醫者の名前なりで書いてやつて置くミ祖父母も少し甘やかして遠慮する様です。かう云ふ衛生訓練は現在の父や母でさへ餘り知識を持つて居ない位ですから徹底させる事は仲々六かしい事です。然し乍ら簡單に手を洗ふだけの習慣でも、ミれ位お腹の病氣を豫防して呉れるものか、悪い黴菌、寄生蟲の卵、そんなものも直ぐに流されてしまふのですから實際こんな有難い豫防法はない譯であります。眼の前に一々證據をつきつけられないミ合點がゆかぬものらしいですが、皆なで協力して、衛生訓練は續けてゆき度いものミ考へます。

獨逸の今回の戦争の大勝の原因は、精神力の統一ミ科學知識の賜物であるミ云はれて居ります。

科學知識は現代躍進する國家に取つては原動力であります。醫學にも、工業にも、政治にも、教育にも、文學にも、これなしではもうスクリウを失つた船同様で進歩も何もあ

つたものではないミ思ひます。國民の共同生活の上にもつミ科學的な組織が要求されなければなりません。それを今日の爲政者に望んでも、根が科學的知識のない人々ですから期待出来ません。その分野分野で開拓しませう。衛生、殊に幼児國民衛生の如きも、學校で習はなかつたから知らないミ云ふ様な父母や保母があつてはならぬミ考へます。學校で習つただけが知識ミ考へる様な頭でしたら、それは教育法も悪いかも知れませんが、兎に角もうその人は卒業したその日から社會の落伍者であります。皆なその道その道を努力開拓してこそ花もあらうミ云ふもの、幼児衛生訓練についてもやはり同じ様な事が云へるミ思ふのであります。

會 告 八月號休刊

本誌八月號は休刊し、九月に於て、八・九兩月號を合冊發刊いたします。

昭和十五年七月

日本幼稚園協會

七月の幼児童謡

葛原しげる



七月は夏も真夏です。この月末には幼稚園でも、小學校でも、夏の休暇のはじまる月です。そして八月一ぱいは、ごちらでも、暑すぎて勉強も遊戯も出来ないといふのですが、しかし、戸外に出ます、植物も、動物も、活々としてをりまして、見ても面白く、友達としては最も面白く、子供も、おのづから活々として来る夏です。誰かは、夏日の長いのをよろこびましたが、私は、日が長くて、いろいろの事をするのに、都合のよい點に於て、夏を悦びます。「暑さ」は、意外に苦にならぬらしい幼児の世界に於て——

東京の町の真中でも、よく見かけますが、幼児は、さうして、あんなに、土いちり、砂いちりが好きなんでせう。道路工夫が、まだ工事を始めないで、トラックか何かで運

んで来て、小山のやうに、入道に積み上げておく砂を附近の幼児が、見つけて出て来て裸足になつて、夢中でいぢつて遊んでゐるのをよく見かけます。

全く、一心不亂で砂いちりをしてゐるのです。車道では電車が込合はうが、空では雨が催して来ようが、そんな事にはお構ひなしで——。

この砂場は、この幼稚園にも、托兒所にもありますが、そこでの遊びは、大體同じです。山を造り、穴をあけて——。即ち、まづ、砂を掘つて、掘つた砂は積上げて、小高くして、その小さな山の中腹にはトンネルを掘るのです。そして、山には木を植ゑたり、草を植ゑたりして、ほん物の山を想像してゐるのです。そこで、ほんまの山のトンネル

の積で、「ビー」を鋭く、汽笛一聲後は、「ゴ〜〜〜」
と汽車の突進です。

「銀砂」は、きれいに光る何かも交つてゐて美しい砂で
す。そして、此の題が「お砂場遊び」でないことに、御注意
の上、次のミ御くらべ下さい。

—— 砂のトンネル ——

葛原しげる作歌
弘田龍太郎氏曲

銀砂サク〜もり上げて

お山が出来た

高い 高い

お山に トンネルくりぬいて

おもちゃの汽車を

ビーゴ〜〜

(川に浮れて)

次のは、同じ「お砂場遊び」でも、前のがトンネル本位で
あるのに對して、お砂場遊びそのものなのです。この第一
節では、お砂場遊びのお道具を並べました。しかも、一人
で、でなくて、「皆で」です。第二節は、前の砂の「トンネル」
と同じ作業ですが、汽車の擬聲を、「ポッ、ポッ、ポッ」に
しました。前者の「ビー、ゴ〜ゴ〜」と、こちらは、幼児向
でせうか。これは、曲趣の影響もありますから歌詞からだ
けでは論ぜられません、變化のあるのは、勿論、「ビーゴ

〜」の方ですが「ポッ」といふ破裂音の三回もの反復も、
スタカト鋭くします時、かなり、效果的であります。

かうした擬聲、擬態と、その「音」への再現の研究は、
實演童話の方でも、極めて、大切な役割をもつものである
こと、御経験の通りです。幼児にまつては、童話は「はな
し」であり、童謡は「うた」であるといふ一つの約束を拔出
して共通のものゝある事は愉快です。

—— お砂場遊び ——

葛原しげる作歌
梁田 貞氏作曲

一 皆の好きなお砂場遊び

おしやもじもつて、バケツをもつて

皆で、砂場へ出かけませうよ

砂場をさして、一、二、三

二 こんなに高いお山が出来た

草木をうゑて、谷川つけて

お山の下には、トンネルほつて

おもちゃの汽車を、ポッ、ポッ、ポッ

(大正幼年唱歌第七集)

戶外運動で、ブランコの愉快は、前へ、後への、反復、
また、その反復の正しさの心易さ、紛れのない事、不安
のない事の悦びです。そしてこれは、きこちなくない、なめ
らかな運動であることこの快感でもあります。ですから、一

度、乗つて漕ぎだしたら、仲々、代りたくなく、下りたくな
ないので、いつまでも、漕ぎつゞけてるみたいので次の番の
ものが、

「先生、〇〇さんが、代つて下さらないんです」

と訴へたり、元氣ものゝ太郎君、次郎君が

「こら、下りろ」

「もう、代らないか」

と、漕いでゐるブランコに、飛びついて急に止めようとし
て、一緒に怪我をしかねないのです。そこで、

「十まで、こいだら代りませう」

としておきました。この「十」は實は、問題でして、少し、
早すぎる、これも案じてをります。唯、幼稚園程度の数の數
へ方に於て、十以上は無理でせうし、曲のリズムからも、
「十まで漕いだら」「二十まで」よりは、「十まで」の方が
ゆつたりして、スウキンギングの氣持を、よく現はします
ので、十にしたのです。

——ブランコ——

葛原しげる作歌
小松耕輔氏作曲

ブランコ ブランコ

こびよ こびよ

かぞへて こびよ

一つ 二つ 三つ 四つ

十までこいだらかはりませう

(大正幼年唱歌第二集)

夏の遊びの中に、涼しげであり、見る目も輕快であり、
美しくもあるものに、『シャボン』玉遊びがあります。そし
て、その輕快、その美しさの他に、壊れ易いものであるだ
けに、吹き吹き大きくして、破壊させないで、管から離れ
させ、空中に浮かせ得た時の嬉しさ、また誇らしさ——し
かも、きつこ、すぐ、上昇しすぎるか、何かに突當つて、ぱ
つこほんきに、ぱつこ瞬間に、消えて一滴ボタリ！、さう
したモメンタルな生命である事にも、氣持よさがあつてか、
幼児は、まここに好きです。

此の二篇の中、前者は、まづ、フウフウ吹きさへすれば、
クル／＼廻り／＼膨れる不思議をいひ、後者は、それが、
フワ／＼ゆれて、キラ／＼光る美しさを扱ひました。しか
も、あくまで輕やかに——。

しかし、圖にのつてゐるこ、破れ易く、はしやぎすぎて
はならぬ事を戒めて

「あんまりふくれて破れるな」

「あんまり上つて破れるな」

と、たしなめておきました。

後者も、大體、同じ狙ひ方です。シャボン玉が生れる「
こいひ、こはれてきた」こいふ所に苦心があります。折

角のシャボン玉が、さばずに、すぐ、こはれて消えるさ
ふ運命の淋しさ。

そこで、風に、吹くなご頼んで、改めて、飛ばさうとい
ふのです。

—— シャボン玉 ——

ふくれるくシャボン玉

フウく吹けばクルく

まはつてふくれる管の先

あんまりふくれて 破れるな

あがるよくシャボン玉

フワくゆれてキラく

ひかつて上るよ空高く

あんまり上つて 破れるな

(大正幼年唱歌第二集)

—— シャボン玉 ——

シャボン玉 さんだ

やねまで さんだ

やねまで さんで

こはれて きえた

シャボン玉 きえた

さばずに きえた

葛原しげる作歌
梁田 貞氏作曲

野口 雨情氏歌
中山 晋平氏曲

生れてすぐに

こはれてきえた

風風吹くな

シャボン玉 さばそ

(童謡小曲三)

水鐵砲は、大人にさつては、幼児に水を汲んでやるため、
縁側を濡らされる爲、幼児の着物が、ビショくになり勝
なため、かなり厄介でもある代物ですが、しかし、幼児本
人には、愉快です。殊に自作の水鐵砲である時に、さいひ
たいのですが、實は、幼児には作れないでせうが、大人が
手傳つてやつて「私のつくつたこまにしておいてやつて下
さい。まこまに、めでたい水鐵砲です。」

—— 水 鐵 砲 ——

八波 則吉氏歌
平岡均之氏曲

私のつくつた水鐵砲

お池の水で ためましたら

らくく屋根をこしました

やねの雀も にげました

上手に出来て うれしくて

庭へも水を打ちました

植木の葉にも かけました

シュッく打出す水鐵砲

(童唱名曲全集一)

勤勉振に心すべきです。また此の全篇は一種の驚きを表はさうとしたものです。

——朝顔——

葛原しげる作歌
梁田 貞氏作曲

涼しさそのものゝ様な音を立て、夏の軒か縁の上からか吊下げられてゐるものが、風鈴です。そしてこの風鈴は寝てゐる赤ちやんが、夢の中で笑顔をした時に、風鈴が涼しく、ちりちりなりました、さいふのです。そして、寝ながらの笑顔を、夢の中でも風が吹いて、風鈴が、ちりちりなつた、さいふのです。美しい想像ですね。

——風鈴——

川路 柳虹氏歌
草川 信氏曲

風鈴ちりちり くなりました

あかちやん すやくねましたよ

風鈴ちりちり になりました

につこさあかちやん 笑ひます

夢の中でも 風吹いて

風鈴ちりちり なつたでせう

(童唱名曲全集一)

夏の花多きの中に、幼児に親しみ易いものに、朝顔があります。そして其の美しさは、あくまで、新鮮です。あくまで、スマートです。何の色のも、みな。

又、この花の最も特殊なる性質は、朝早く咲いて、午後までは咲き残る事なく、如何にも、短命な花です。そして早起の競争をして、急いで起出して来てみても、やはり、この花の方が、きつこ、毎朝早く咲いてゐるのです。その

あれ きれい 垣根に きれい
これ ここに あそこにも

赤白紫 いろさま／＼の
らつばの形の朝顔が

あれ きれい 垣根に きれい

これ ここに あそこにも

朝はやく さんなに早く

出て見ても さいてゐる

お目々をさまして ニョ／＼顔に

す／＼しいお庭に咲いてゐる

朝はやく さんなに早く

出て見ても さいてゐる

(大正幼年唱歌第十集)

夏の夏らしい景物の中に、いつでもあるのですが、噴水こそは、最も夏にふさはしい景物です。噴水を、ぢつと見てゐますと、ひつきりなしに、全く、ひつきりなしに、シユウ、シユウとばかり、よくも休まず、よくも疲れずに、噴き出すこゝです。高く上つて、如何にも、氣持よささうです。ですから飽くこゝを知らず、眺めつゞける事が出来ま

す。それが時々、風に、横から吹かれて、サラ／＼と顔に當る涼しさ、氣持よさ、全くもつて、噴水は、夏のものです。ごこかでは、この噴水の水柱に、ピンポンのボールを噴き上げ、噴き上げさせてあるのを見ました。割竹の細いので、圓錐形のかこひを造つて、その外へは落ちない工夫をしてある爲にボールは水柱から、時に、外れても、又噴上げられるのでした。また、あるごころでは、その水柱の頂上に、蜻蛉が、ごまらうごして、近づいては、時に、水柱が、急に高くなつたり、低くなつたりするので、見當をつげかねて、ごまりかねてゐるごころがありました。それを眺めつくしてゐますご身も心も、暑さを忘れてしまふのでした。

さて此の歌曲は、「シユウ／＼／＼／＼」のメロデーの特異なう、ま味で、幼児を悦ばすごきいてをります。例の擬態です。

—— 噴 水 ——

お池の噴水 おもしろい
ひつきりなしに水柱

シユウ／＼／＼／＼

高く上つて おもしろい
お池の噴水 すゞしいな

葛原しげる作歌
梁田 貞氏作曲

風に吹かれて 霧の雨

サラ／＼／＼／リ
顔にあたつて すゞしいな

（大正幼年唱歌第二集）

夏は動物の多い中で、最も可愛らしいものは金魚です。その尾緒の美しさ。美しい其の尾緒を、ゆらり、ひらりご、舞ふやうに、ひるがへして、泳ぎまはる豊けさ——これを歌つたものも他にありますが、次のは、金魚のさうした特徴でなくて、晝寝をしてゐる金魚です。一體、水の中の魚は、人間のやうに、お蒲團の中に横になつて寝入るごころがあるのでせうか。金魚を見てゐますご、少しも動かないで、ごつきしてゐる時があります。その時寝てゐるのでせうか。眼は開いたまゝであり、口や鰓にあたる所を見ますご、水を、のんだり、はいたりしてゐるのですが、あれでも、寝てゐるのでせうか。

何にしても、金魚のひるね、は、面白い題目です。しかし、寝てゐる金魚——金魚を見るものにまつて物足らなさは、その動かないごころです。そこで、

「お目々をさませば、御馳走するぞ」

ご、人間扱ひにしても、金魚は、すまして寝入つてゐるのですから、返事のしやうもなく、動き出して、泳ぎ廻る事

もしないので。所が、急に、ブク〜ミ、あぶくを吐いたので、はつミ氣がついて見るミ、金魚も目がさめて来たのです。尾が少し、鰭が少し動き出しでもしたのでせうね。

——金魚のひるね——

鹿島 鳴秋氏歌
弘田龍太郎氏曲

赤いべべ着た
可愛い、金魚
おめめをさませば
御馳走するぞ

赤い金魚は
あぶくを一つ

ひるねうさ〜

ゆめからさめた

(お山のお猿)

金魚でなく、小さな鯉は、金魚みたいに、ガラス器なごに入れて、室内で飼つてゐるのでなくて、お池に飼つてゐるのです。それに、麩を投げてやりますミ、大よろこびで寄つて来て、つ〜くのです。それは、特に大きくもない麩ですが、鯉が小さいので、小さな口では食べられないので、押し廻してばかりゐるのです。その時、泡ばかり、ぶく、ぶくミ吐きます。さうした滑稽味、また、ちれつたさは、幼児にも分るでせう。

——小さな鯉——

葛原しげる作歌
梁田貞氏作曲

小さな鯉に 麩をやるミ
大よろこびで よつてきて
皆で バク〜

つ〜きます

つついてみても たべられぬ

麩は大きくて たべられぬ

皆でぶく〜 泡ばかり

(大正幼年唱歌第二集)

次は、思ひ切つて大きな動物、グロテスクな動物、水中の動物「河馬」です。それを可愛らしく「ちゃん」をもつて呼んで、

「こわい顔でも見たいのよ」

こいふのです。恐い物見たさは、大人にもありますが、幼児も、禁止された事は、して見たくなり、見たら大變なものも、見たいのです。一種の好奇心以上の反抗心かも知れません。但し、河馬は、グロそのものです。それが見たいのはその昔、ビリケンが愛玩されたのミ、同じ心持かミ思はれます。

——河馬ちゃん——

葛原しげる作歌
小松耕輔氏作曲

河馬ちゃん 河馬ちゃん

出ておいで
水の中から
出ておいで

みんな 河馬ちゃん

見たいのよ

河馬ちゃん 河馬ちゃん

こわい 顔

いつも さうして

こわい 顔

こわい顔でも

見たいのよ

(昭和幼年唱歌三)

蝙蝠は、高空へは舞上りません。人家の棟なごより高くは飛ばないで、多く、夕暮の蚊なごを捕るらしいのですが、草履でも、下駄でも投上げてやるご、急に、それを狙つて寄つて来て、地上近く落ちて来るのを追掛けても、下駄と一緒に地上には落ちないで、又急に、氣を替へ、向を替へて、空へ舞上ります。そこで思ひきつて、三月月さんを喰はへて来い、ご、いふのですが、幼児にはちご、分りませんでせうか。

——かうもり——

富原 義徳氏歌
佐々木すぐる氏曲

かうもりこい かうもりこい

夕焼空から おりてこい

紅緒のかつこを くはへてこい

かうもりこい かうもりこい

お湯屋の煙突 まはつてこい

三月月お月さん くはへてこい

(童唱名曲全集一)

夏の音楽家は、秋のこほろぎ、松蟲、鈴蟲、くつは蟲、鉦たゞきなごの様に多くは居りませんが、しかし、蟬の聲の大きいこご、それ等の秋の蟲の聲はすべてを合せて一つにしても叶はない程の音量です。その蟬にも種々あります。が、一番、音楽的なのは、ミン／＼蟬ご、カナ／＼蟬です。何れも、夏の來たのを悦んで、鳴くのでなく、讚美して歌つてゐるのでせう。お倉の向ふで「こいひ」お庭の中で「こいひましたのは、その所在が分らなくつて、聲だけが聞えてゐる事を、いはうごしたのです。全く蟬の聲は、遠音もさせば、強くも鋭くもあるのです。何でも、蚤の跳躍力ご、蟬の音量ごに比して、人間のそれは、非常に弱く小さいものだごも聞きました。人間は、その點に於ては、蚤ご、蟬ごに、顔色無しですね。次の二篇ごも同じ想ですが、後者の「夏だ夏だ」ご悦んでゐるご見るのは兒童にも「暑い」ご弱音をはかしたくないからです。

——ミンミン蟬がないてゐる——

葛原しげる歌
梁田 貞氏曲

ミンミン蟬がないてゐる

向かふの森でないてゐる

大きなこゑで よいこゑで

一生懸命 ミーン ミン

ミンミン蟬がないてゐる

夕日をおびた森の木で

涼しいこゑで よいこゑで

夏だ 夏だ さ ないてゐる

——せ み——

お倉の向ふで ないてゐる

ミン〜蟬が ないてゐる

大きな聲で ミン〜

夏が来たのを よろこんで

ミンミン蟬が ないてゐる

ミン〜蟬が ないてゐる

お庭の中でも ないてゐる

カナ〜蟬が ないてゐる

大きな聲で カナ〜

夏が来たのを よろこんで

カナ〜蟬が ないてゐる

カナ〜蟬が ないてゐる

(大正幼年唱歌第二集)

(昭和幼年唱歌三)

葛原しげる作曲
梁田 貞氏作曲

夏の動物中、わけて男兒が一番好きなのは、さんぼです。

一體、都會でも、田舎でも、さんぼを捕へる男兒の心持は、

さんなのでせう。捕へる事そのものが面白いのですが、憎

いからさか、また、おいしいからさか、啼かせる爲さか、

そんな功利的な考は、毛頭ないのです。逃げるのを捕るこ

いふ事の他に、興味も、目的もありません。それで、蜻蛉

の方でも、男子の振廻すも、竿に、すれすれに飛廻つて、

危く、つかまらないで、逃げるのです。まるで、人間の事

を、からかつてゐるのかさへ思へます。

かうした蜻蛉が、捕りたい蜻蛉が、すぐ眼の前に、竹の

葉にしまつてゐるのです。捕らうかき、忍び足で近よつて

行くさ、竹の葉が、ちよいさ揺られて、蜻蛉は眼をさました

のですが、それでも、舞上らうさも、逃出さうさもしませ

んのは、まだねむいのでせう。そんなら捕らないで、ねか

して置きませうか。

——さん ぼ——

竹の葉つばに さんぼがさまる

さんぼ しまつて ひるねした

さんぼ ねむくて おひるねか

竹の葉つばがちよいさゆれた

さんぼ たまげて 目がさめた

さんぼ ねむくて おひるねか

野口 雨情氏歌
中山 晋平氏曲

(童唱名曲全集一)

蜻蛉の中の、やんまは大きいですね。あれが、夕空の涼風を切つて、鮮やかに飛んで来る姿の立派さ。如何にも、「兩翅をひろげた」といふ言葉さほりに、しつかり、延べて、擴げた兩翅のすつきりしてをりますこと。

それを思つて、「こんで来い」を迎へる氣持です。

此の曲の、すんでゐて、鋭い中に、スキートな情のこもつてをりますこと——極めて單純なのですが……。

——さんぼ——

葛原しげる作歌
梁田 貞氏作曲

さんぼ さんぼ

来い 来い

兩翅ひろげて

涼しい風に

スイスイ こんで来い。

さんぼ さんぼ

来い 来い

兩翅ひろげて

涼しい御空を

スイスイ こんで来い

(大正幼年唱歌第六集)

夏の楽しみ最大のなるものは、長休みの来る事です。その楽しみは、毎年の事ですが、楽しい幼稚園通ひも、さる

ことながら、これは又、格別の楽しみです。殊に、都會生活のものには、山や海に親しむ唯一のチャンスでもありませんから、大に楽しませたいのです。

次の二篇とも、同じ内容ですが、後者は、山さ、海さの説明をして、具體的に、山さ海を楽しませ、父母さ、兄弟さをあしらつて一層の期待をかせました。

——夏休 み——

永島洋太郎氏歌
江澤清太郎氏曲

もうぢき来る夏休み

今年山へ 行くどころか

それさも海へ 行くどころか

早く来い〜夏休み

もうぢき来る夏休み

山へ行つたら 山登り

海へ行つたら泳ぎませう

早く来い〜夏休み

——夏休 み——

葛原しげる作歌
梁田 貞氏作曲

(童唱名曲全集一)

明日から嬉しい夏休み

どこへ まゐりませう

お山には 冷たい水がわいてます

父さま 母さま

御一しよに、お山へまゐりませう

夏休み

明日から嬉しい夏休み

ごこへまりませう

うみべには涼しい風が吹いています

兄さま 姉さま

御一しよに、うみべへまゐりませう

夏休み

(大正幼年唱歌第十一集)

幼児の中には、海よりも山の方がよい體質、性質のもあります。多くは、海岸には、「波」をいふ不斷の活動家がある。幼児を飽かしめないでくれます。波こそは、自然の保姆ですね。よくも疲れず、よくも飽かないで、幼児を遊んでくれます。この波を遊んでゐるを、知らぬ間に時は過ぎて、「いつか日がくれ、月が出て」です——しかし、そんなに長く海岸で遊ばせておいては、お腹が冷えますから、三つくに、引上げた後は、「波は、ひきりで鬼ごっこをしてゐるでせうね、を、幼児を入浴しながら、チャブくしても見ませうね。を、これは、次の二篇の前者で、後者は、波を遊んでゐる面白味です。

——さんぶりこ——

さんぶりこ さんぶりこ

さんぶりこ さんぶりこ

濱邊の砂で遊んでる

波を子供の鬼ごっこ

さんぶりこ さんぶりこ

さんぶりこ さんぶりこ

いつか日がくれ 月が出て

波はひきりで 鬼ごっこ

——波よこいこい——

波よこいこい 此處までこい

あんよのここまで やつてこい

白のおくつを ぎりにこい

波よこいこい 此處までこい

おひざの上まで やつてこい

赤いバケツを ぎりにこい

波よこいこい 此處までこい

手のなるここまで やつて来い

ドンくザプリをよせて来い

林柳波氏歌
宮原禎次氏曲

(童唱名曲全集一)

鈴木素風氏歌
小松耕輔氏曲

(童唱名曲全集一)

育保の月七

み ぶ 川 及

暑さが日増に強くなつて来る。

幼稚園の大抵のところで七月からは保育時間が短縮されて来る。

けれども幼児たちは大人ほごには暑さを苦にしない様である。暑氣の頃の保育について各園各様の細心の心使ひがほしいものである。

一例を挙げれば、遊園に木蔭の多い幼稚園は別として、庭の一部に葦簾の日よけがあつてほしい。又砂場の上にも日光の直射を避けるために、日よけのすだれか、へちま、朝顔なごの蔓ものを植えておく事なごも一方法ではなからうか。

庭での遊びの後は汗を拭き、手や顔が相當によごれる様であるからこの期の訓練の一つでも考へて、手や顔をよく洗つたり、拭ふ事の習慣をつける事が大切である。又エプロンについてゐる可愛らしいハンケチでは充分に拭ふこ

ごが出来ないから平常でもそうであるが夏期には出来れば手拭を一本づつ幼稚園に持参してもらつておくさよ。

幼児のお仕事の上についても、七月上旬のうちはさほごでもないが、中頃になるに暑さも餘程きびしくなるから、幼稚園でのいろ／＼のお仕事も分量少く、又なるべく朝の涼しいうちにすませる事にしたい。木蔭の自由遊びの時間を出来るだけ多くして幼児たちの満足するまで遊ばせたい。

七月七日は七夕様の行事の他に、近年この日は日支事變記念日として保育の重要な役割をもつ日である。この日は幼稚園では何れの方法によつてもよいのであるから、幼児たちに日支事變の事、出征將士への感謝、戦歿將士の慰靈なごの精神を培ふ事に保育主眼をおくべきである。

陸海軍への恤兵の資に各家庭より廢品を持ちよりて獻金する事、慰問袋を作る事、傷病將士への慰問なご種々の方法のうち適當のものを選ぶことにするさよ。

事變關係の童話、童謡、或は人形芝居なごも幼児たちには印象深くなる事であらう。

第一週 七月一日—六日

月

明治神宮遙拜式 (式次第前月通り)

唱歌 キラ／＼小星

この日保護者も多数集るので夏季休暇中の注意事項な
ご話す。

夏季休暇中の家庭における幼児の生活のうち、ごく簡単
な記録によつて早起、早寝の良習慣をつける一助ともなる
別表なきの記入なきも参考の一つであらう。

右の表中起床、就床の時間記入、病氣の際の記入、備考
欄の何月何日何地へ轉地なきは保護者の手傳が入用である
が、その他の○×なきは出来るだけ幼児自身で記入させる
のがよい。九月になつて幼児たちがこの記入表をお土産に
登園するのも夏季休暇の一つの收穫ではなからうか。

○
今夏の文部省主催の保育講習會並に、本會主催の遊戯の
講習會に就いての委細は、本誌の廣告を御覽下さいますや
うに。

毎年のことながら文部省主催の講習會御參會の手續きに
つきまして種々お問合せや、御依頼やらがございますが、
私共では如何とも致すことが出来ませすたゞ、お氣の毒
に存するのでございますが、今年はどうぞ、あの廣告にも
細々御説明申上げてございますようにお手落ちないやうに
お願ひいたします。聞くところによりますれば、多分七月
一日頃の官報に出る由でございます。(夏季講習會係り)

幼児の作つた童謡の募集

幼稚園の毎日に、幼児が口ずさむ可愛らしい創
作童謡。それは朝の露のやうなすが／＼しいもの
ですが、誰れかゞその場で擲ひとつて置かないと
消えて仕舞ひます。先生方はいつもそうした可愛
い、創作を耳になさるでせう。それを書きとめて
送つて下さいませんか。うまいまづいは問はず
に。

その子の年齢。姓名。出来たら、その謠が出来
た場面、前後の関係も書き添へて頂きたい。先生
のお名前と幼稚園名とも是非お知らせ下さい。短
い謠は葉書でも結構です。早速どうぞ。

その可愛い、詩人には、何か可愛い、御ほうび
を差上げたいと思つてゐます。

昭和十五年七月

日本幼稚園協會

一等 鼠さんのお引越し

相 田 多 惟

鼠さんのお家がありました。其れはお爺ちやんのお家のお臺所の天井の上にあります。其處には大きなお父さん鼠さん中ぐらるのお母さん鼠さんそれから小さな三匹の仔鼠さん、お名前はね、お兄ちやんが一郎ちやん鼠、その次が二郎ちやん鼠、一番お終ひが三郎ちやん鼠つて言ふの。それだけの鼠さんが住んで居りました。

此の鼠さんのお家にはお倉もあるのよ。

天井の壁に穴をあけて色んな物をしまつて置くの。みんな物が入つて居るでせうね？

大きな菱餅のかけらが入つて居るのよ。それはね、何時だつたか力の強いお父さん鼠がお雑段の所から「ヤッコラサ、ドッコイサ」ミ引つぱつて來たの。それからお人蔘の頭も入つて居るのよ。之れはをさゝひの夜、お母さん鼠が下のお臺所からドッコイショくミ持つて來たの。

それから未だ入つて居るのよ。一郎ちやん鼠の持つて來た馬鈴薯、二郎ちやん鼠の引いて來たビスケット、それからね、石鹼も入つて居るのよ。これはね、一番小さな三郎ちやん鼠が昨夜お湯殿から「ヨイチヨくヨイチヨく」ミお顔を眞赤にして運んで來たの。でもね石鹼は美味しく無いでしょ。だからお父さん鼠が「そんなの捨て、おしまひよ」つて言つただけ三郎ちやん鼠が「イヤくくく」つて言ふのでたくくお倉の中へ入れて置く事にしたのよ。

下のお家のお爺ちやんは、天井の鼠さんが色んな物を持つて行つてしまふし、夜になるミ「ド

タバタ〜騒ぐでしよ、だから餘り五月蠅いのでたう〜小さな眞黒けの仔猫さんを飼ふ事にしました。

そんな事は知らないのです、或る晩一郎ちやん鼠三郎ちやん鼠の三匹の仔鼠さんは、又こつそり下のお臺所へ降りて行きます、今までに見た事も無いお耳の尖つた眞黒けの動物が寝て居るので吃驚しました。

あら何でせうね？、さう〜お猫さんですね。でも三匹の仔鼠さんは未だ一度もお猫さんと言ふ物を見た事が無いので、お味噌桶の蔭にかくれてそ〜つこのぞきました。

「おや、あれは何んだらうね」

「黒いからやつぱり鼠かしら」

「でも一寸違ふね」

「そばへ行つて見ようか」

「喰ひ付くぞ恐いよ。お母さん呼んで来ようよ」三匹の仔鼠さんは相談してお母さん鼠を呼びに行きました。

お母さん鼠は何だらうと思つて、天井から覗いて見るなり吃驚してしまひました。

「あら〜、お前達あれは恐い猫つて言ふ物だよ。こんな處でぐづ〜して居て見つかるぞ喰べられてしまふよ。さあ〜早く早く」お母さん鼠は三匹の仔鼠さんを連れて急いでお家へ歸つて来ました。そして其の話をするにお父さん鼠もやつぱり吃驚して、

「そりや大變だ。ぐづ〜して居るぞ其の猫に喰べられてしまふ。さあ〜すぐにお猫さんの居ないお家へお引越しませう」

お父さん鼠とお母さん鼠はあわて、お引越しの仕度をしました。さあ〜皆でお倉から色々な物を出して持つて行きます。お父さん鼠は大きなお餅のかけらを、お母さん鼠は人蔘の頭を、一郎ちやん鼠は馬鈴薯を、二郎ちやん鼠はビスケット、それから三郎ちやん鼠はあの石鹼

を、皆それぞれかついでこつそりお引越を始めました。お父さん鼠はお猫さんに聞えない様に小さなお聲で、

「お父さんが一番先に歩くから其の次が一郎ちゃん、二郎ちゃん、三郎ちゃん、そして一番お終ひがお母さん。良いかね。そつこ歩かないとお猫さんに見付けられて喰べられてしまふよ。解つたね。ソット歩くんだよ。さあ出掛けよう。それソット、ソット、ソット、ソット」

「ソット、ソット、ソット」

皆、重いお荷物を脊負つて音のしない様にそつこ歩きました。お天井は眞暗でうっかりするご電燈の線に引掛つて轉びさうですよ。でも皆氣を付けながらそつこ歩きました。

するご向ふの方に何だかよく光る眼が二つじつこつちを見て居ります。お父さん鼠もお母さん鼠も三匹の小鼠さんも吃驚して柱の蔭へ隠れました。

「お猫さんかな」「お猫さんよ、きつた」「恐いなーく」

三匹の仔鼠さんはお母さんのお腹にかじり付いて小さくなつてふるへました。でも變ね、其の眼は一寸もこつちへ歩いて來ませんよ。

「變だな。お猫さんの眼にしちや。一つ々々の大きさが一寸違ふな」

お父さん鼠はそう思つたので小さなお聲で聞いて見ました。

「誰ですか、其處に居るのは？」

でも其の眼は黙つて居りました。

お父さん鼠はもう一寸大きい聲で聞いて見ました。

「誰ですか、其處に居るのは？」

でも其の眼は黙つて居りました。お父さん鼠はもつこ大きい聲で聞いて見ました。

「誰ですか。其處に居るのは？」

でも其の眼はやつぱり黙つて居りました。

「變だな、お猫さんぢや無い様だ。一寸行つて見て來よう。」

お父さん鼠はこはぐそばへ行つて見ますと急に後を向いて笑ひ出しました。

「何だ節穴が光つて居たんだつけ。下の燈が映つて丁度お猫さんの眼の様だつたんだよ。」

まあ良かつた事、お母さん鼠も三匹の小鼠さんもやつと安心しました。そして前の様にお父さん鼠を先頭にして、お荷物をついで又ソーツトく歩きました。

少し行くに急に誰かが

「其處を通るのは誰だ？」

と言ひました。お父さん鼠もお母さん鼠も三匹の仔鼠さんも吃驚して飛び上りました。

するに其のお聲が又、

「なーんだ鼠さんか。お揃ひでちちらへ？」

と前より優しい聲で言ひましたのでお父さん鼠はほつとして良くく見ますと大きな蜘蛛さんが網にぶらさがつて居りました。

お父さん鼠は

「あゝ吃驚した。おきかしつこなしですよ、蜘蛛さん。實は此の家でお猫さんを飼つたので家中揃つてお引越をする所ですよ。」

と申しますと蜘蛛さんは

「おやそれは失禮しました。ごめんなさい。うっかり此處を通られると私の網が破れてしまふんです。一寸待つて下さい。急いで網を除けますから。」

蜘蛛さんはさう言つて網を除けて皆を通して呉れました。お父さん鼠もお母さん鼠も三匹の仔鼠さんも良かつたねとお顔を見合はせて蜘蛛さんにお禮を言つて通りました。

又少し行くにお爺さんのお家とお隣りとの境に來ました。でも困つた事には其の間が廣く開いて居るので、皆一人々々飛んで渡らなければなりませんよ。それにお荷物を持つたまゝぢやござうしても飛べませんもの。お父さん鼠とお母さん鼠は色々相談しました。さうく、一人向ふへ渡つてこちらのお荷物を受け取つてもらひませう。お父さん鼠は力が強いから投げる役、お母さん鼠は受取る役。さう定めてお母さん鼠は「ビヨン」を向ふへ飛びました。

さ今度は一郎ちゃん鼠が飛ぶ番よ。何んだか廣くつて恐いな。でも元氣を出して飛ぶ用意をしました。さあ「一」「二」「三」おつまつまつき恐い々々。さうしても飛べないんですよ。だつて足がすくんでこつちのお家から離れないんですもの。今度は二郎ちゃん鼠の番。

さあ「一」「二」「三」駄目々々やつぱり駄目よ。今度は三郎ちゃん鼠の番ね。

「一」「二」「三」やつぱり飛べないの。向ふのお家に居るお母さん鼠もこつちのお家に居るお父さん鼠も本當に困つてしまひました。さうく良い事がある。それでは仔鼠さんもお荷物の様に受け取つて貰ひませう。

お父さん鼠は一郎ちゃん鼠をかゝへて「一」「二」「三」よいしよ」を抛りました。お空をクルクルとボールの様に飛んで來た一郎ちゃん鼠をお母さん鼠は「よいしよ」を上手に受け止めました。今度は二郎ちゃん鼠の番ね。ほら「一」「二」「三」よいしよ」お母さん鼠は上手に受け止めましたよ。其の次は三郎ちゃん鼠の番ね。ほら「一」「二」「三」よいしよ、お母さん鼠はやつぱり上手に受け止めましたよ。

まあ良かった事。三匹の仔鼠さんはお父さん鼠の手からボールの様にお空を飛んで來たのが面白くて、お手々を叩いて喜びました。

今度はお荷物の番よ。最初に大きなお餅のかけら、それからお人蔘の頭、馬鈴薯、ビスケット、そして一番お終ひに石鹸ね。お父さん鼠は上手に投げましたよ。お母さん鼠も上手に受け止めましたよ。そして一番終ひにお父さん鼠がビヨンを飛んで來ました。

もうこれで皆渡つてしまつたのね。さ又前の様に行列を作りませう。お父さん鼠はお餅を持つて先頭よ、其の次は馬鈴薯を持つた一郎ちゃん鼠でしたね、其の次がビスケットを持つた二郎ちゃん鼠、そして石鹼を持つた三郎ちゃん鼠、一番おしまひがお人蔭の頭を持つたお母さん鼠でしたね。さ、歩き出しましたよ。もうソーツト歩かなくなつて良いの。此處にはもうお猫さんは居ないんですもの。皆元氣で歩きました。そしてほらさつき節穴を猫さんご間違へた事や、蜘蛛さんに叱られた事や、お家ごお家の間を飛び越して來た時の事を色々話し合つたり笑つたりしながら新しいお家へお引越して行きました。

おしまひ

二等 逃げない小鳥

佐藤 久子

もうすぐ冬になります。

山では木の葉が紅くなつて、つめたい風が、遠い北の方から吹いて來ました。

高い木の上で小鳥のお母さんご子供が、

「もうそろ／＼暖かいお家を見つけないではならないね」

ごお話をしてゐました。

たへるものもあまりみつかりません。お母さんが小さい小鳥に云ひました。

「今頃になるさ、村の子供が鳥籠を持つて、お前のやうに小さい可愛い、鳥をみつけない來るか
らね、食べものを見つけないさきも、よほご氣をつけないさいけないよ」

子供の鳥は「うん／＼」ごお返事をしながら、早く飛びたくて飛びたくてたまらないやうに羽

根をピク／＼動かしました。

「おかあさん、もういゝでせう。行つてもいゝでせう」

小鳥は元氣にさび立ちました。

秋の空は海のやうに青くて、さこまでも、さこまでもつゞいてゐます。

村から、子供達が鳥籠を下げて山へさやつて來ました。

鳥籠の中には、されにも一羽づゝ鳥が入つてゐました。イスカやヒワやムクドリでした。

子供達は左手に鳥籠を、右手に、もち竿を持つてゐます。

與四郎はヒワをおさりに持つてゐました。

高い木の下へ來るさ、籠を枝に下げて、持つてゐるたもち竿を側に立てかけるさ、そつさ竹やぶの中に入つて行きました。

籠の中の鳥がピピッピッピッなきはじめるさ、きつささこからか小鳥達がよつて來るのです。

他の子供達は小鳥がかゝる頃まで、山へ登つてあそんでゐるのですけれど、與四郎はいつも離れてじつさ様子をみてゐるのです。

ほら、もう小鳥が來ました。さつきの小鳥です。小鳥はすいぶん飛びまはつて、すつかりくたびれました。ふさ下をみるさ、

「おや？　おかあさんだ」

籠の中にあるのはたしかにお母さんのやうに思はれました。小鳥はびつくりして、お母さん鳥のさころへいかうさ、そばの一番近い細い枝の先にさまりました。

あら、さうしたのでせう。枝の先のベさベさしたものに足がくつゝいて離れなくなりました。枝さおもつたのは、もち竿でした。あわてゝ「バタ／＼」さもがくさ、足は一層枝の先にくつゝきました。羽根もすつかりくつゝいて動かすさこが出來なくなりました。

するさ、竹やぶの中からさつきの子供がさび出して來ました。與四郎でした。

「やあ、ヒワがかゝつた。うまいぞ、僕が一番だ」

與四郎は、もち竿から小鳥をはなして、そばの鳥籠の中へ入れました。中に入つてゐたのは、お母さんではありませんでしたけれど、小鳥はおんなじヒワの子供でした。小鳥は急に悲しくなつて、

「おかあさん、おかあさん」

ごなきました。でも、お母さん鳥はぎうしたのか助けに来てくれません。

與四郎は籠を下げて山を下りて行きました。

「おさうさん、僕、もう取つたよ、ヒワだ。可愛い、ヒワだよ」

與四郎さんが嬉しさに云ひますよ、爐端に坐つてゐたお父さんが、

「さうか、それちや明日は、町へ行つて皆一緒に賣つて来よう」

ご云ひました。與四郎はしばらく考へてゐましたが、

「ねえ……おさうさん、このヒワねえ、僕に頂戴よ、これ一羽でいゝから」

「なんだ、おまへのもんだ、いゝやうにしろ」

ごお父さんが云ふよ、與四郎はごび上つて喜びました。

そして早速別の籠へ移して餌と水を入れるよ、勉強部屋にしてゐる納屋の方へ持つていきました。

「毎日々々鳥取りしてるのに、あんなヒワぐらゐに喜んで……おかしなやつだ」

ごお父さんが、圍爐裏のそばから與四郎の後姿をみてゐました。

與四郎は毎日學校から歸るよ、すぐに山へ鳥取りに出かけるのですけれど、ごんないゝ鳥が取れても、あのヒワを賣つてしまふごは出来ませんでした。

ヒワの黄色い羽根は與四郎がさはるよやはらかくて、小さいからだか暖かいやうに思はれました。そしてヒワのまるい黒い目が、やさしさうに與四郎を見てゐるやうでした。

小さい小さい可愛い、ヒワを賣つてしまふことは出来ません。與四郎は納屋へ入つて、こつそりヒワにいろいろなお話をしてくれるミギがありました。ヒワは與四郎が大好きになつて、もうお山へ歸ることも忘れてゐました。

ぽか／＼暖かい日でした。

納屋のさきで、小鳥はふみおかあさんのこゝを思ひ出しました。もうこんな寒い冬になつてしまつたのに、あのお母さん鳥はさうしたのでせう。小鳥は急にお母さんに會ひたくなつて、

「おかあさん。おかあさん」

こなきました。與四郎はまだ歸つて來ません。小鳥はふみ、遠くの方で、「ピィ」ミ鳴く聲を聞きました。

「おや、」

小鳥はもう一度ないてみました。するさ、小さかつた遠くの鳴聲がだん／＼近づいて來ました。小鳥は一生懸命になきました。

「あ、おかあさんだ！」

小鳥は嬉しくて、

「おかあさん。おかあさん」

ミ羽根をばた／＼させて、お母さんのこゝろへいかうさしました。でも、籠の戸がしつかりしまつてゐて駄目でした。お母さん鳥は籠のそばへ來て、

「あ、おまへは元氣だつたね、おかあさんはそんなにさがしたかわからないのよ」

こ云ひました。それからお母さん鳥は、籠の中以外で、たくさん／＼色々のお話をしました。小鳥は與四郎さんにつかまつてから、ずつと與四郎さんに可愛がつてもらつたこゝをお話しました。

「おかあさん。おかあさんも、もういなくなつてしまつたわ、ね、與四郎さんも」

きつミ喜びますよ」

お母さんは、「えゝゝゝ」ミお返事をしました。でも與四郎さんが歸つて来るまでは、小鳥の籠へ入るこゝが出来ません。

その時、與四郎さんの元氣な聲が聞えました。

「コトリヨ、コトリ、カワイイヒワヨ」

「あ、よしらうさんだ」

與四郎が籠の方をみるミ、籠の上にもう一羽のヒワがミまつてゐます。

「おや、ヒワだ」

籠のヒワミそのヒワが、「ビイビイ」ミ聲を合せて鳴きました

「あ、ヒワのおかあさんだ」

與四郎はびつくりしました。

その時、すぐに思ひました。

「さうだ、はなしてやらう。おかあさんのそばへやらう」

與四郎は籠の戸をあけました。小鳥を逃がしてやらうミ思つたのです。ミこゝろが、小鳥は逃げないばかりか、外の親鳥までが籠の中に入つて來ました。

お母さんミ小鳥は、嬉しさうに「ビイビイ」ミ頭をすりつけてゐます。

與四郎はおもはずにこゝミ笑ひながら、それをみてゐました。

ほかゝミ冬の日が、小鳥たちの黄色い羽根に暖かさうに光りました。

フレイベル賞入選童謡

一等 ダルマサン

楠 正 子

一 コロコロ コロブ ダルマサン

シロイ ハチマキ ウントシメ

ゲンキナ オカホデ ニラメツコ

アサカラ バンマデ ニラメツコ

二 コロコロ コロブ ダルマサン

アカイ オベベデ ウントコシヨ

ツヨツナ オカホデ ニラメツコ

アサカラ バンマデ ニラメツコ

三 コロコロ コロブ ダルマサン

クロイ オヒゲデ ウントコシヨ

コハツナ オカホデ ニラメツコ

アサカラ バンマデ ニラメツコ

二等 お洗濯

相田多惟

一 チャツプノ、チャツプノ
お洗濯

母様たらひでお洗濯

赤ちやんの着物を洗ひます

シャボンのあぶくがブク／＼と
まるでお空の雲の様

二 チャツプノ、チャツプノ
お洗濯

私もバケツでお洗濯

お人形の着物を洗ひます

シャボンのあぶくを見て居るこ

一杯お顔が映るのね

三 チャツプノ、チャツプノ
お洗濯

ゆすいで絞つて干しませう

母様は赤ちやんのお着物を
私はお人形のお着物よ
もうすぐ干いてしまひます

三等
汽
車

土
田
千
草

一
汽車々々走る
田圃の中を
煙をはいて
走ります
誰タレも知らない
夜中でも
ポツポ ぽツポミ
走ります

二
汽車々々走る
田圃の中を
長ナカく列ガんで
走ります
お花を摘んでる

子供たち
お手々を振つて
みてるます

佳作
雪よ降れく

辻

繁

一 雪よ降れく雪よ降れ
大きなたさんのお目目した
雪のダルマさんをつくるまで

二 雪よ降れく雪よ降れ
皆さ野原で赤さ白
雪合戦で遊ぶまで

三 雪よ降れく雪よ降れ
坂の上から櫓つけて
スーッとすべつて ゆけるまで

佳作
煙

津
村
滿
喜
子

一
ボッ　ボッ　ボッ　ボッ
黒いけむ　白いけむ
長い煙突つたはつて
お空にむかつてまび出した

二
ボッ　ボッ　ボッ　ボッ
黒いけむ　白いけむ
さんくのぼつてうすくなり
雲と一緒にになりました

三
ボッ　ボッ　ボッ　ボッ
黒いけむ　白いけむ
ここまで　のぼつて行くのでせう
僕も　一緒に行きたいな

佳作

春

吉田トミ

- 一
ぼか／＼春がやつて来た
かはい／＼桃がふつくらこ
ニコ／＼笑顔でいひました
もう春ですよ 春ですよ
- 二
ぼか／＼春がやつて来た
やさしい風がそよ／＼と
小さいお花にいひました
もう春ですよ 春ですよ
- 三
ぼか／＼春がやつて来た
お縁の上でお日さまが
坊やにそつこいひました
もう春ですよ 春ですよ

佳作
お相撲

神保正世

- 一
みんなみんなおいでよ土運び
トロッコ押せ〜エッサ エッサ
土俵つくりだ もつぎ〜はこべ
小石があつてはあぶないぞ
出来たぞ〜丸い土俵
- 二
土俵つくりは相撲も強い
先生行司だハッケヨイ
グン〜押せ〜あまがない
- 三、二人のお顔が眞赤になつた
ごちらも負けるなガンバレ〜
勝つても負けても泣くではないぞ
僕等のお角力は強いんだ

幼稚園の唱歌について

出席者

専門家側

小松 耕輔

奥田 良三

宅 孝二

實際家側

倉橋 惣三

及川 ふみ

柴田みどり

山村 きよ

菊池フジノ

倉橋 本日はありがとうございました。幼稚園の音楽教育といふ事に就て私の寡聞かも知れませんが、ちやんとした考へがありません。音楽が必要であるとか、かういふ事はしない方がいゝといふのはありますが。何とかさういふ事を考へておきたいのです。他の幼稚園から幼児の音楽に就ていろ／＼の問題が出て

私達は教へられたり求められたりしてゐます。だが私達は保守的であつて、……音楽教育の批判の標準も欲しいのです、

平常實際家がいろ／＼困つてゐる點を持ち出してみてお教へを頂きたい。

小松 我々もこれと云つてまとまつた考へもありませんが……

倉橋 どういふところから伺ひませうか。

菊池 一番手近なことで困つて居りますのはラヂオの唱歌の問題でございます。

ラヂオの唱歌をどうみたらよいか……

倉橋 みたらつて聞く方ですか。

菊池 いゝえそれをどういふ風に採り入れるかといふ事です。程度が高すぎたり歌詞や曲のむつかしいのがあります。若い保母さんはそれを採り入れないと古臭いといふのですが。

小松 幼児の時間は何時から何時までですか。

菊池 九時四十五分から十時までです。

宅 子どもが歌つたりピアノを弾いたりするのですか。

菊池 大抵子どもが歌ひます。

小松 どういふ時間にあてゝゐるですか。

菊池 大抵聞く様にしてゐます。

宅 教材に使ふのですか。

菊池 私共の方では、保母の個人々々の考へで、自由です。

倉橋 小學校の唱歌の様に檢定材料でありませんが。この問題は放送局の方を批判するといふのでなく……

小松 非常に程度が高かつたり必ずしも幼児むきでないのもありますね。

倉橋 今の菊池さんの話は、幼稚園でとつて聞かせるのに、どの位の高さまで鑑賞させるかといふ問題と、それをとり入れる、言換へれば幼稚園の唱歌の材料に新しいものを採り入れたいので、

宅 私は二三回聞いてみましたが採り入れる必要は全然ありませんね。

小松 中には幼児むきの面白いのもありますよ。どんな人が放送するのですか。

奥田 いろ／＼の人がしてゐますね。

山村 どういふ所でするのでせうか。

奥田 放送局で選定するのです。鑑賞といふのは全然駄目です。幼児に教へてゐる人が放送するのなら長年教へてゐて子供にいゝといふので出す、だから其の中に何かあります。鑑賞は全然いけないが出すものと聞く方がこなし得るかどうかによつてとり上げるなら宜しいでせう。

山村 實際家が唱歌を教へる時、——自分に才能がない爲教へ方のコツが良く分らないが——歌ひ方のコツを教へて呉れるので子供がひきこまれて良く歌ひます。ですから歌詞を選定したり曲をやさしくして欲しいのです。割に良い影響を與へてゐますから内容も考へて欲しいと思ひます。

倉橋 うたのおけいこは幼稚園の爲に出してゐるのですが、その時間はどうでせう。

山村 (私の方は冬は困りますが)とてもいい集りの時です。お話よりも歌のお稽古

の方が子供がひきつけられます。ラヂオと一緒に歌つた歌の方があとで印象に残るのでないでせうか。

倉橋 大事なものがむつかしいものがない。ものによるのですね。

奥田 子どもはむづかしいものでもすぐ覺える。喜んで聞いて、而も印象に残るのなら問題はありませぬ。

山村 小節の前に休止符のあるのは教へにくいがラヂオで歌ふと調子よく入りま

す。

奥田 十人が十人喜んで聞きますか。

山村 組の先生の扱ひにもよりますが喜びます、普通のオルガンの前で歌ふよりも喜びますね、あとで自分達が教へる時に簡単です。

奥田 楽譜は？

山村 テキストがあります。

従來の本當にいゝ幼稚園唱歌がかへりみられなくなるのではないでせうか。

倉橋 放送局で出してゐる歌は放送しなければ覺えられぬ位むつかしいものです。テキストなしでは駄目ですか。

山村 仲々むづかしいです。

倉橋 放送する人は幼児むきと思つてゐるでせう。

奥田 時間の問題ぢやありませんか。

倉橋 亂暴に言へば幼稚園の唱歌が音楽的魅力が子供に及ばないのでありませんか。教育的とか、やさしいとかで。極端にいへば母の言葉より映畫の眞似をするとか。その方に魅力がある——

奥田 新らしい香を狙つてするんでせうからぬ。

山村 若い新しいものを好く人は全然さういふものに吸ひ込まれて行つて家の中のお菓子のうまさを知らなくなるのではないでせうか。

一同 問題は其處にありますね。

菊池 喜んですればそれをぞん／＼してもよいかしらと心配しながらしてゐます。

小松 楽譜が前に手に入れば弾いてみていいと思ふもの丈聞かせる、さういふ風にしたいいのです。

倉橋 此方は選ぶ権利、義務があるから放送局の選ぶのを全部聞かなくていゝのだから、それは良いでせう。

宅 中にはひどいのがありますよ。

山村 幼児には聞かせて良いといふ判然した目安がつけにくいのです。

倉橋 曲のみならず幼児音楽の選擇が心許ない。目安が欲しいものです。どうして定めたら良いでせうか。

奥田 この歌は喜ぶだらうと思つて與へると喜ばなかつたり、喜ばないと思つてゐると喜んだり……

山村 ありますね。

宅 不自然なのが駄目なのぢやありませんか。

奥田 満洲歌の中にとんでもない跳躍があるがあの臭みが喜ばれるんですね、想像以上ですよ、子どもは四度、七度の音程は音が出なくても良く歌ふ。

宅 歌詞と良く合つてゐるとよく歌ふ。

倉橋 客觀的標準からこの位のはどうかといへますか。

宅 おしなべてといふのはいけませんね。やはり一ツ一ツの曲について言はなくては

奥田 同じ曲でも詞によつて歌ひいゝのと歌ひにくいのとあります。譯詞にありますね。

小松 私は幼児の時間は時間の都合であまり聞きませんが、六時の子供の時間は丁度食事の頃なので注意して聞いてゐます。最近文部省の音楽改善委員會で子どもの歌、大人一般の歌等と分けて聞いてゐますが、幼児むきとして出てゐるレコードには虚飾が多い。幼児に過度の刺激を與へるものが多く純眞なものが少い。

その點で仲々推し得るものがない。放送局でもさうなちやないでせうか。選擇するなら童心に満ちた曲を第一にしなればいけません。

倉橋 童心に満ちた曲といふのは？

奥田 虚飾のない童心に満ちたものといふと昔のものゝ方になりはしないでせうか。

菊池 此頃のものはいろ／＼つくからひきつけられるのですね。

小松 流行歌がかつた童謡がぼつ／＼出てゐますが音楽としては末梢的で刺戟本位です。

倉橋 標準を誤つた時にさういふ影響がありますか。むつかしいの歌はすと子供はさうなりますか。

小松 結果は私達には分りません。が幼児の純眞な心情を害する事は確かです。宅 大きくなると思趣味の音楽に近づく様になります。

小松 今の心配は放送の音楽と今までの音楽とは大分差がある。駄菓子にしようかウエファーにしようかといふ所にあるのですね。

菊池、山村 さうです。

倉橋 問題の性質が判然して來ました、一つ一つによらねばならぬ事は教へられましたが、そこまで一曲一曲を主にして考へる立場でなく教育的立場としては何か標準が欲しいものです。何歳位の者にはどの位のものがいいか、其處は私に分らない、さうぞ皆さん伺つて下さい。リズムの性質、音階の性質、メロディの關係とかあるのだがどんなのがいゝか標準が立ちますか。

小松 大きな輪廓は立つてせう。宅 荒城の月はリズムミックで、昔は大體あんなのんびりしたリズムミックなものなしたのですね。

小松 あのメロディは幼児は喜びません。

自分等の生活と遠いから。

倉橋 何とかのトから何とかのボまでと言つた工合に何とか標準は立たないものでせうか。

小松 音域と拍子は大體定められます。

宅 音域は昔より廣くなりましたか。

山村 十年位前まではハ調のミからレまで、その上は絶體にいけないといふのでした。がその範圍では歌が少いのです。

菊池 ハ調のレより上は苦しさうですね。

山村 それでも歌ひます。

小松、宅、奥田 無理に出すのはいけませんね。

菊池 ウェーファアの種類の唱歌では高い音があると仲々歌ひこなせないのですが虚飾のあるのではよく歌へますし又出します。

小松、宅、奥田 鑑賞によくても教へるのにはいけません。

菊池 さういふ音が出て來ると選擇を誤つたかと思つて徹底的に歌はせられませぬ。

小松 昔はニからニまでハ調のレからレまでです。

奥田 オクターブです。曲が少なくなりますね。高いのが喜ばれるのですか？

菊池 いろ／＼ついてゐるのは、變化もありますので高い音があつてもよろこんで歌ひますが、ウェーファー式なのですといつて來ないんです。

倉橋 愛國行進曲、その他の流行歌は子供がどう歌つても構はないが幼稚園として要求する時に標準が起つて來るのですね。

恐れ多い事ですが君が代はあひますか？

小松 ハからニまでです。

宅 少しむりですね。

倉橋 音域の外に何かありますか？

小松 拍子ですね。二拍子、四拍子、簡単な三拍子の程度です。

山村 休止符が前にあるのは歌ひにくいといふので與へませんでしたか？

小松 一つ調子よく歌へる様です。

宅 シンクペーションはどうですか。

小松 時に歌ひにくいのは。

倉橋 その他何か

小松 あとはリズムの餘り複雑でないもの

です。大體の目安は其の邊でせうね。

倉橋 ウェーファーは駄菓子に斥けられる譯だが我々の様なものは例外として、子供は自然に成長して來るとして面白がつて歌ふといふのは——駄菓子でなくては面白くありませんか、ウェーファーでは駄目

でせうか。我々の食へるウェーファーは仲間々うまいが。

小松 要するに子供が喜ぶ、好きだからといふ條件だけで與へるのは危険です。やはり選擇すべきです。

倉橋 理想、空想だが上等なウェーファーを與へればそれで子供の音楽の生活的な樂しさは滿されるのでせうか。

山村 與へ方によりますね

倉橋 味をぬいてやれば駄目ですね。

小松 味のある上等のウェーファーを與へなくてはいけません。

山村 食へさせ方によります。

菊池 やはり技術ですね。

倉橋 一度虚飾の多いのを與へられるともうすぐに本當の味が仲々分らなくなりませぬ。

山村 それが危険です。

倉橋 愛國行進曲を始めとして子供の歌ふのはどん／＼歌はせる、かういふ順序ですればかういふ結果があると、結果を要求してよいものでせうか？

宅 事變關係の歌は喜んで歌ふでせうね。倉橋 子供が社会的に歌ふ歌はさうですな。

宅 仕方がないんですね。

小松 幼稚園で教育する場合はそれとして家庭と社會で協力する。家庭に注意を與へてやるのですな。

倉橋 幼稚園では學校で時間がある様にあいふ形態で指導する事が必要でせうか。どの程度にしたらよいでせうか。

小松 さんなふりあひになつてゐますか。

倉橋 (山村、柴田氏を紹介する) 音樂の時間をどういふ風にしていますか。

山村 私の方では時間を定めてしません。遊戯の前に五分か十分、お歸りの前にも、それ位します。それで勢ひラヂオの歌のおけいこに吸ひつゝのです。

倉橋 かりに時間を定めると。

山村 一日の中でつくつてします。今別に音樂的な目安が出来ないしその儘になつ

てゐます。

倉橋 音樂の教育をしなければならぬといふより特に良い教材が少いからといふ事になりますな。

奥田 先生如何ですか、音樂について基礎教育としてはどうしたらよいでせう。お宅のお坊ちやん達の音樂教育をどうしていらつしやいますか。

奥田 別に……

倉橋 私は幼児期に於て音樂の基礎教育を受けなかつたから大變に損してゐます。音の教養から性格の教養に來したらもつと上品になつたでせうか。

奥田 虚飾のあるのを教へて悪くなるでせうか？程度問題だと思ひますな。

菊池 幼稚園でちよい／＼と入る位では影響がないと思ひますが。

奥田 それ程神経質にならなくて良いでせう。

倉橋 さうすると音樂教育が建設されませんね。幼児期に良い音樂を聞かせる事が人間教育として必要なものだとしなけれ

ば、

奥田 一同 さうです／＼。

し音樂と併行させる事はむりでせうか。絶體音でなく。音は目で見えるものと思はせたいものです。

倉橋 幼稚園で譜を讀む力を教へたらいいのですな。

奥田 え、おたまじくしをよめる様にしたら良いと思ひます、幼稚園の間はせめて、おたまじやくしが音だといふことを感じさせるといふと思ひますな。

柴田 十年許り前に西洋人から聞いたのですが、ドからド迄を太郎さんの階段として皆で上りませう、下りませうといつて教へてみました。そして今日は何段迄上つたといふ風にしてゐました。ハ調のドを弾いたらそれがドと分る様にしてゐるのです。

奥田 結果は？

柴田 校長から聞いたのですが、日本の青年が音に對する感覺が鈍い、十歳、十五歳を過ぎると音の高低に對する判断が止つてしまふさうです。

奥田 小學校に入る迄の耳の問題は重要らしい。鈴木氏も必要だつていつてゐます。

倉橋 根本的なものを觸むのは小學校までですな。耳の教育をするには目でも分る

様にするのですか。幼稚園では聞き覚えより少し指導的にやつてゐますが其より少し先に入る必要があまりか。

例へば繪の方で聞き覚えの様にでたらめにやつてゐると指導的に此の色と此の色とは對照であるとか多少教へられてやるといふ風に、音楽の方でももしその方が有効とすれば、クレオンの箱の中に色を入れるにしてもちやんと虹に入れるといふ風にするのは如何でせう？

奥田 いゝでせう。

宅 入れた場合必ず美的でないといけません。

山村 音に對する教育は必要ですが五線と結びつけなくてはいけないものでせうか。太鼓等を聞かせ音に對する知識、音に對する感興をおこさせればよいのではないでせうか。耳に與へる機會を多くして、箱の中に石や小豆を入れて振つた時の違ひを言葉に表さなくても自分に分るといゝと思ひます。

奥田 絶體音も病的と思ふが、そんな所までゆく必要はないと思ふが、五線がよめるといふ事は必要です。一生の樂みです。

倉橋 よみ得るとして子供にはさうむづかしくないといふのですね。

奥田 え、最小限度で結構です。小學校でハ調がよめる位でよいのです。音が、おたまじやくしであるといふ事が分るといひです。

倉橋 おたまじやくしをよめるのは情操教育にどう結びつきますか。

宅 音を音として見たらいゝではありませんが。

小松 樂譜と結びつけるとなると手段と發育の程度を考へないと實行性が伴つて來ない。手段に相當の研究がいりますね。

倉橋 外山君が子供に教へてゐるのは？

奥田 絶體音教育です。それを教へるのに或程度とつつかまへて教へてゐるので、

倉橋 とつつかまへずに五線をどう教へるのですか。

奥田 どんぐりのド、れんげのレ、みかんのミといふ風にして教へるのです。どんぐりのドとみかんのミとを並べなさいといふ風にしてやつたらよくないかと思ひます。

倉橋 それを見て歌へる様にするのです

か。

奥田 ならなくていゝです。

倉橋 音の教育に有效なんですな。

宅 何もしなくてもピアノから入ると直ぐ分ります。

小松 ピアノの鍵盤と樂譜と音を結びつけるのはやさしい。併し全部の子供には仲々出來ません。

柴田 さういふ樂器のない子供は取殘されてしまひます。

宅 さうです。

山村 掛圖の様に唱歌の本があるが何時から定めたのですか。

小松 井上君の考案したのもあります、又西洋にあるのです。

倉橋 現状の儘でやつてゐて音符を最小限度で試みるのもいゝです。結果の方からいつて正しく歌はない子があります。それを小學校の音楽の時間では訂正するんですか。

小松 訂正しますよ、しないのは悪いのです。

奥田 私の所に小學校の四年の生徒がお母さんと來たのです。聞いてみると他の學はいゝが唱歌が五點で、上級學校にゆ

くの困るといふのです。試してみると耳も悪くないがたと最初の音がとれない、お母さんにあなたが歌つて聞かせますかと聞いたら歌はぬといふのです。でお母さんが歌はないなら悪いといつたんですが。

倉橋 幼稚園ではどの程度迄要求したらいいでせう、一々出来る様にするのですか。
菊池 歌へない子が一組に二三人づゝあります。

倉橋 幼稚園といふ総合教育の中ではどうするのでせうか、多少厳密にすべきでせうか。

小松、宅、奥田 やはり子供の時に治すべきです。

菊池 幼稚園では家庭にも注意して協力して治さうと努めます。

小松 生れつきの音痴と教へればやれる子と二通りありますから導く事が大事です
倉橋 導けるものとして、——幼稚園といふものゝ全體的な趣旨から個人指導的に治してやる事が必要ですか。

小松、宅、奥田 必要です。
倉橋 幼稚園でしてゐますか。

柴田 治さうとはしてゐますが最後まで治つたといふ事はありません。

倉橋 何とか訂正する良い方法がありますか、一寸サセストして下さい。
小松 方法があります。主として始めの音のとれない子が多いのです。

倉橋 私もさうです。

小松 耳の悪い子は想像もつかない聲を出します。すぐその音をさがしてやるとあふといふ事が分る、それからするのです。そして他の音に導くのです。非常に骨折だが効果はあります。

倉橋 大體幼稚園の子は始めの音がとれるものですか。

山村 オクターブか五度下つてゆく子が二人位あります。下つたまゝで上り下りしてゐるのです。

小松 それは有望です。トニックがとれない事は、聲帯に異常があるのです。アデノイドの子にさういふ事が多いです。

及川 この數年小學校で入學試験の時に歌はせませす、それで幼稚園では一人一人に歌はせたり全體で歌つたり半々位にしてゐます。

倉橋 個人指導が行はれ出してゐるんですね。

小松 いゝ事です。
柴田 私の所では一人で歌へる様にしています。

及川 幼稚園に入りたては無邪氣だから一人一人歌ひます。

奥田 ある子は二年か三年の時に聲がひつくりかへつて笑はれてから歌はなくなつたといふのです。

山村 幼稚園ではそれも悪いです。遠慮がないから笑ふのですね。スキップなんか出来るのに笑はれると止て了ふのです。

倉橋 一人づゝ歌はせる事は或る要求を持つてしてゐるいゝ事です、進んだ事です。

菊池 幼稚園でも細目を定めてほしいと思ひますがいけませんでせうか。

小松 よい所は必要ですな。
倉橋 何もありません。
菊池 私だけでなく皆さんも困つてゐる様です。

倉橋 つくる事は可能ですか。
及川 保育案の方には入れてあります。
倉橋 細目をつくるにはどうしたら良いで

せう、細目委員になつたとするとどういふ方法でやつたら良いでせうか。

勝手に歌つて童心音楽といふわけにも行きますまいからね。

小松、宅、奥田 さうです。

菊池 外國では幼児に音符の問題をどうしてゐますか。

宅 楽器と關聯させてゐます。或る意味では遅れ、或る意味では進んでゐます。日本の方が目先は利くが……

山村 (奥田先生に) お子さんにはどうしていらつしやいますか。

奥田 放任です。それでなくても入つて來るのです。

倉橋 小學校で歌ふのにも入つて良いものかどうでせう。

及川 入つて良いといふのと、使はぬ様にとの二つあります。

菊池 避ける様にしてゐます。

山村 その方が良いです。

倉橋 早くから知つてゐると教材としての新鮮味がないといふのです。がそれは——

一同 それ——

柴田 治しにくいといふ——

一同 さうです——

奥田 音楽を幼稚園で教へなければ教へる所がありません。

菊池 教へる形式だが、小學校の様にまららないと良く出来ません、さうすると練習主義になります。

奥田 それでいゝでせう。まどまつてゆけばそれで良いでせう。

倉橋 形の問題で先生も要求してゐるから形式を従にしてゆけばいい、此方一人できちん／＼してゐるつもりでも幼児の方ではさう思はない。

柴田 家では一番上の子が祖母と長く一緒にゐるので九州のアクセントがありま

す。次の二人は祖母の死後生れたのでそんな事はありませんが。アクセントはどのも四つ位の間に滲込む様です。その事を思ふと音楽の事も考へて了ふのです。

倉橋 あの子は幼稚園から來たから構はない子より耳が出来てゐるといふ事はあります。

菊池 大いにあります。

奥田 皆と歌ふ訓練が出来てゐるとか、前奏からすぐ入る訓練が出来てゐるとか、

音楽も一種の社會訓練です。

倉橋 絶體音といふものは。

奥田 絶體に考慮して鋭くする事は必要です。

小松 耳を訓練して鋭くする事は必要です奥田 譜を興へて幼児がきく位になれば分ります。

山村 絶體音教育をされてゐる子は先生は愉快だが子供は愉快ぢやないといひます

小松 音高だけでは不十分です。

倉橋 文化映畫の中にも絶體音がありません。かまはないでよろしいですか。

奥田 譜をよむのは簡單だが絶體音は要りません。

菊池 幼稚園の唱歌の細目は是非つくりたいものですが。

奥田 五六年たつても良いからゆつくりつくればいゝです。

倉橋 今あるのから具體的に選んで——

原則としては表現し得ぬから、何かあるんだか。

小松 此迄の實驗に基いて編んで頂きそれについて我々の考へを述べるといふ風にしませう。

倉橋 それが良いです。

山村 音に對する教育はどうしたらいいでせう。

小松 それも研究が要ります。

倉橋 音楽に對して從來の様に投げやりではいけないといふ事です。

(小松氏退)

奥田 音に對する教育と歌は別でせうね。

倉橋 音の教育とは具體的にはどういふ事ですか。音楽ではないのですね。

山村、柴田 音の性質、高低です。歌へても高い低いに分らない人があります。

倉橋 幼稚園の樂器といへば必ずピアノかオルガンで他のはどうですか。廣くして打樂器はどうですか。

奥田 リズム丈してゐるのがありますが一寸病的になつて怖いですね。

倉橋 音楽としては正確な樂音のあるものがいいのですね。

奥田 リズムは歌をやつてゐると出来ます。目で見る音楽と耳で聞く音楽と二本立ちで良いです。少くとも樂譜が讀める様にしたのです。

菊池 入口だけで良いのですね。其位は幼稚園でも出来るのではないでせうか。

山村 此方の小學校は？

菊池 二三年頃から符を教へてゐます。

柴田 家の子供は樂譜がよめないから耳さぐりで弾くのです。

奥田 耳さぐりで弾くのは危険です。文部省では中所から下のレベルを目あてにしてゐるから遅いです。

宅 金の要らぬ所を標準にすると何も出来ません。

山村 下町と山手でも違ひます。

及川 こゝではラヂオの唱歌を餘り聞かせません。聞かせると後で後悔しますから。

柴田 ラヂオで歌を覺えるのは好きです。

山村 さうです。

及川 唱歌だと集中はします。お話だと靜かにしなくてははいけませんから。

倉橋 随分大きな聲で歌ひますね。

菊池 はあ、でも大きな聲は長つゞきしませんしそれにふだんもつゞ大きな聲を出してゐますから。

倉橋 大きな聲でいゝでせうね。

菊池 聲帯は？

奥田 大丈夫です。

山村 お友達がやさしい綺麗な聲で歌つてゐるでせう、だから綺麗な聲で歌ひませ

うといふとどなるのはなくなりませう。

奥田 のどを痛めないなら良いでせう、痛めませうか。

及川 ありませんね。

奥田 どなつて音程がくづれませうか。

山村 くづれませう。

奥田 くづれないならそんなにどなつてゐないんです。

倉橋 歌を教へるには歌つて聞せますか。

山村 え。

柴田 歌詞を判然分らせたいといふ意識から歌詞を棒よみにしますが良い事だでせうか。

奥田 いけない事もないと思ひます。

山村 歌詞がそんなに正確に入らなくてもよいと思ひます。

奥田 正確ではないけれども捉はれる必要はありませうね。

宅 こゝでは方言はないでせうね。

倉橋 ありません、それは今日は此の邊でお忙ししい所を誠にどうもありがたうございませう。

場所——東京女子高等師範學校附屬幼稚園

期日——昭和十五年六月



昭和十五年

七月

母の時局認識

今は大變な世界です。僅か數ヶ月の間に、幾つもの國が、その領土を失ひ、その國首が他國に逃れ、また、きのふまでの敵に降服する。更に數日の間に、堂々たる一等國の首都が敵軍へ無抵抗で明け渡され、盟邦への依存から共同の敵への單獨講和さへ餘儀ないことゝされる。古い歴史の本にでも讀むことが、こんな大きな變動が、今日の前に行はれてゐるのです。我國はそれらの騷亂の舞臺から遠い東洋にあつて、撃ちあふ大砲の音も、空中に追ひかけあふ飛行機の爆音も、互に押し迫まる戦車の地ひゞきも聞えない

のですけれども、それは所謂地のはてのこと、所謂對岸のことでは決してありません。

自分としての大きな仕事を支那でしてゐながら、かうした世界の變動に、一刻々々直面してゐるのが、今の我國です。即ち今のわれわれです。そして、その中で我子の指導に當つてゐるのが、皆さん方です。その、我子の指導は時局の認識を離れては出来ません。

政治家や教育家に必要な如く、時局認識は母に最も必要です。そのために、あなたは常に、さういふ工夫をしてゐますか。

母の讀みもの

新聞

わざ／＼おすゝめするのも可笑しいやうな譯ですが、お母さま方に、毎日の新聞をよく讀んで頂きたい。此の時局下で、朝夕の新聞とラヂオのニュースは、苟も時局のことを按ずるものにとつて、最も關心の深い筈のものです。苟も時局下に我子を教育する母として、その關心は平時の新聞とは比較にもなりません。

先づ皇室の御事。國內の公の問題、支那事變の進展。ヨーロッパ戦局の目まぐるしい動き。その記事は一つ残らず目を通さずにみられませぬ。殊に事變やヨーロッパのことは地圖を見ながらしつかり知らなければならぬし、解説や論文によつて、その一貫した情勢に通じることが肝要です。母よ新聞を讀めです。

夏休みが来る

—家庭としての注意—

倉橋惣三

少し早手まわしの話かも知れませんが、もうやがて夏休みが來ます。それに就ていろ／＼考へて置かうぢやありませんか。

一 先づ根本として氣をつけなければならぬことは、生活の規則正しさといふことです。幼児のことですし、そう／＼細かく厳しくといふ譯ではありませんが、今までの幼稚園通園といふ大きなきまりがなくなるために、一日の生活がえて不きまりになり勝ちなのです。朝は何時に幼稚園へゆくといふので、起床も、朝食も時間がきまつてゐたのに、それがどうでもよくなると思れば、折角く今まで行はれてゐた時間が、くづれて仕舞ふのです。それが不規則生活の出發で、あ

とは、順々に不規則になりませう。子も平氣、親も平氣といふ以上、それが夏休みといふものゝおきまりとさへ思はれて來たりします。「お休みぢやないか」これがいけないのです。その不規則の中でも、一番もとになるのが起床時間ですが、それのもう一つもとになるものがあります。それは就眠の時間です。夏の夜はなんとしても、つい更かし易い。夏の夜はいろ／＼餘興が多い。暑くて寢ぐるし

い。その上に、ひる寢の長さが影響して、いつまでも睡むくならない。そんなことをな大人といつしよにして、平生とは、ちぎに一時間二時間とおくれる。それが直ぐ翌朝の起床に影響するのです。その朝寢坊がまた背張りのもとなり、ゆう

七月の御馳走

榮養研究所 佐々木理喜子

夏季は食物が腐敗し易く、殊に御辨當は作りましてから數時間を過ぎますので一層注意を要します。腐敗は細菌性の物が多く、水分と温度と榮養の三つが、適當な條件下に置かれると危険であります。温い御飯と冷い御さいなをつめて直ぐに、蓋をして御子様に持たせるのはいけません。前夜煮た物、買つて來た煮物は、つめる前に必ず一度煮直して腐敗を防ぐ用意を怠らぬ様に致しませう。又おさいは汁氣のない様にします。

① 煮干の煮付と野菜

材料 煮干一二瓦 莢いんげん二〇瓦
馬鈴薯四〇瓦 以上で蛋白質八二瓦
溫量九八カロリー

調理法 煮干は小さいものを用ひ腹部の苦い所だけを取ります。軟く煮まして砂糖、醬油で少し辛目に味付け、汁氣の無くなる迄煮ます。

莢いんげんは適當に切り、馬鈴薯の柏

への宵更しが次の朝寢坊のもととなり、斯うして、夏休み全體が、だらしないものになつて仕舞ふのです。ですから、夏休みの第一の標語として規則正しい早寢といふことを、壁にでも貼りつけて置きたいものです。

二 次には運動の不足です。何しろ平生は幼稚園での通り運動を充分にしてゐるのです。それがびたりといふ程でもないでせうが、少くも半減、八割減といつたことになり易いのです。これは、餘程しつかり氣をつけて、積極的に注意しないと、免れ難いことです。外は暑し、

友達はなし、家の中でころ／＼して日を暮す。お休みじやないかね。靜かにしておいでといふので、室内遊びが第一になるのです。甚しいのは、折角く山へ來、海へ來てゐながら、その時間の大部分は室内といつたことになるのも少なくありません。そこで、自然氣おにもなる。食物の消化が悪くなる。生活力そのものが休暇になつて來ます。夏休みが濟んで九月の登園といふ時、どんなにさつそうと

して來るかど待ち受けてゐると、休み前よりも却つて瘦せて、生ま白い顔色をして來る子が稀であります。體重をはかつて見ると、ずつと減じてゐる。その上、休み病の腹こわしを持ち越して來て、だるそうに保育室の隅に御休憩といふことさへ少くないのです。これでは、夏休みは有害といふことになりませんが、親のもとで暮した筈なのに、ついそんなことも言つて見たくなりますね。そこで夏休みの第二の標語として戸外運動怠るなといふことを、壁にでも貼りつけて置きたいものです。

三 以上二つの注意で、健康教育は先づ出來ますが、それにもう一つ添へて注意したいことは、幼稚園での生活習慣をつゞけて頂きたいことです。例へば、食前に手を洗ふこと、食前に兵隊さん入り難うといふこと、食後のうがひをするなど、自分のことは自分ですること、遊んだ後の片づけを自分ですること、といった様のことを、お休み中休業にしないことです。これは、それらの一つ／＼のこと

子木に切つたのと一緒にして、油で炒め次に水を少々加へて軟く煮、砂糖、鹽で味付けます。

② 野菜と櫻えびの炒煮

材料 櫻えび一三瓦 油揚二〇瓦
キャベツ四〇瓦 人參一五瓦 油三瓦
以上で蛋白質八・一瓦 温量九七カロリ

調理法

櫻えびは手早くきれいに洗ひ水氣をきります。油揚は程よく織切りします。キャベツと人參も適當に織切り油で炒め、油揚と櫻えびを加へまして砂糖、醬油でカラリと味付けます。

③ そぼろ飯

材料 豚肉四五瓦 玉葱三〇瓦 人參一五瓦 蕪いんげん二〇瓦 ラード四瓦 刻昆布少々、以上で蛋白質八・三五瓦 温量一〇四カロリ

調理法

豚肉は挽肉にします。玉葱、人參、蕪いんげん等は細く刻みラードでよく炒め、これに刻昆布を加へて醬油、砂糖で味付けます。豚肉はそぼろに致します。御飯の中に野菜と豚肉をきれいにのせます。

以上

がい、ことであるのみでなく、習慣を失はせるといふことが、最もよくないことだからです。習慣といふものは、その内容のねうちの外に、自ら習慣を破らぬといふ處に、大きな教育的ねうちがあるのですから、そこは、傍からも注意しなければなりません。決して、休み申位休んでもよからうで、傍から習慣破壊のけしかけや、手傳ひをしてはなりません。

幼稚園では、皆でする爲に、それらの習慣も行はれ易いのです。家庭では一層注意しないと行はれ難いのです。そこを一つしつかり、つづけさせて下さい。そこで夏休みの第三の評語として、生活訓練は幼稚園と同じにといふことを、之れも一つ壁に貼りつけて置いていたゞきませう。

× × ×

壁に貼ることが大分多くなりましたが、かうした注意事項の外に、夏休みの一番肝心なところを忘れてはなりませんまい。

それは、このお休み中こそ、お母さ

んがその計劃と工夫とで、一手にお子さんの生活指導に當れるといふことです。私達は幼稚園へお子さん方をお預りして、なんとなく心配になることは、お子さんをお母さまから奪ひ過ぎはしないかといふことです。それを、夏休みには、すつかりお母さまにお返しすることが出来るのです。

さあ此のお休み中こそ、わたしの手で我子の健康も訓練もしつかりして見せる。平生幼稚園でしてあることを訂正し、補充してやる……では少々私達が御挨拶に困りますが、家庭教育専一期間としてこの夏休みは、お母さまのどんなにかお楽しみのことかお察し申上げるのです。その、母としての楽しみが一ぱいでなくては、子ども生活もひきまはれることは出来ません。夏休みは幼稚園の休みでも、家庭生活の休業ではありませぬ。但しこれは壁よりもお母さんの心に貼りつけておくことでせう。

母のこよみ

汗と子ども

汗の季節になりました。汗は、氣にするといやなものですが、汗の出るのも氣のつかない程に力の入つた生活は貴いものです。おとなの勞働と、子どもの遊戯とがそれです。額に汗してといふのは、自ら働くことに使はれる言葉ですが、一生懸命遊ぶ子にもあてはまります。いや額だけでは足りないことで、全身の汗こそ、よく遊ぶ子の姿です。

その汗をきらつてはいけません。おそれはいけません。またこんな汗だらけにして……と、子どもよりも着物を大切にしたりしてはいけません。

ただ一つ大事な注意は、その汗の後始末です。汗にぬれたまゝの着物で風をひかせないことです。汗くさいまゝの着物で不潔にしないことです。之は分りきつたことを申して汗顔の至り。

第八回全國幼稚園關係者大會報告

昨年、仙臺に於いて、第七回全國幼稚園關係者大會のあつた節、次回は昭和十五年に、東京に於いて開かる可きであるが、此祝福す可き皇紀二千六百年を記念して大和の聖地、橿原に於て開催したいと云ふ奈良縣の希望があり、之には東京側も賛成し、京都其他、關西側の支援もあつて、滿場一致、開催地を變更するに決した。此決定に基ついて、本年五月二十七日第八回の大會は、橿原神宮の神域に、新に建造せられた建國道場の傍に、大テントの式場をしつらへて、催さるゝことになつた。

當日、會に集まるもの一千百拾餘名、空前の盛況を呈した。會は、午前十時、濱野庶務幹事の開會の辭に始まり、次いで

- 一、國歌合唱
- 一、宮城遙拜

一、皇軍將士の武運長久祈願、竝に戦歿將士英靈への感謝默禱

- 一、教育勅語奉讀
- 一、詔書 紀元二千奉讀

- 一、會長式辭
- 一、來賓祝辭

一、二千六百年頌歌
の順序を以て進行し、夫より一同橿原神宮の大前に參拜し、更に……御陵に參拜して、一と先づ休憩したり。

午後一時、再開、辟頭、第七回全國大會の報告竝に、全國聯合保育會結成準備委員の報告あり、次いで、動議

新に、委員を舉げて、全國聯合保育會の結成準備を續行するの件

を可決して、日程の議事に入り、先づ第一項の宣言を滿場一致を以て可決したり。宣言文左の如し。

宣言

光輝ある紀元二千六百年に際會し全國幼稚園關係者一同建國の聖地橿原神宮の大前

に額きて皇運の彌隆昌ならんことを祈願し神域に大會を催して保育報國の赤誠を誓ふ今や我が國運は未曾有の伸張をなし東亞並に世界に於ける地位と使命は益重大を加へ畏くも紀元の佳節には時艱克服國威昂揚の聖勅を降し賜ふ、竊慮深遠にして恐懼極りなし。

當局茲に鑑る所あり教學の本旨に則り教育の内容及制度を刷新して克く皇國の負荷に任ずべき國民の基礎的鍊成を完からしめんとす

吾等生を此大御代に亨け事に保育の聖職に従ふ焉ぞ國策に順ひて淬礪の誠を致さざらんや。

即自ら肅くして皇國の道の修練に徹し率先範を垂れて新師道を樹立し幼兒保育に當りては皇民道德の萌芽を啓培し剛健なる心身の基を育成し以て雄渾なる皇謨を輔翼し誓つて聖慮を安じ奉らんことを期す。

右宣言す

昭和十五年五月二十七日

紀元二千六百年紀念

第八回全國幼稚園關係者大會

次いで日程、第二項の左記建議案四件

一、保姆の待遇を小學校本科正教員と同等の程度に改められんことを其筋に建議するの件
東京市保育會

一、公立幼稚園の園長並に保姆に對し速に年功加俸を支給せらるゝ様其筋に建議するの件
長崎市保育會

一、滿四歳以上の幼兒を收容する保育機關を文部省に於て統轄せられたきこと
神戸市保育會

一、鐵道省の各種大會講演會等に對する旅客運賃割引規程の主催者中に保育會を加へられん事を其筋に建議するの件
大阪市保育會

を可決決定して其手續を幹部に一任したり。

次いで、協議題

一、國民學校令實施の際國民學校との連絡上保育に關し留意す可き事項如何

堺市保育會

一、教育審議會案幼稚園四項目の研究委員を擧げて、之が實施案を作製し、其筋に提出しては如何

東京大和郷幼稚園

を上程し、委員を擧げて其調査を委嘱し、而して、其報告は「幼兒の教育」誌上に於てすることに決定したり。

以上を以て、第一日の日程は完了した

謹告

本養成所の恒例として、連年夏季講習會を開催いたしました。が、本年は都合により休會いたしました。そのため例年の如くお目にかゝれないことは遺憾であります。來年の夏を期し再び開催お迎へ申上げることが楽しんで居ります。

尙本養成所一同所長始め皆々健康に斯道に盡して居りますので、其點御安心下され度く念の爲め申添へさせて頂きます。

昭和十五年七月

東京昭和保姆養成所

り。第二日は全員四班に分れて、附近史蹟見學につき、記事を略す。
因に記す。第一日の散會後、引續き同會場にて、全國私立幼稚園關係者の會合あり、全國私立幼稚園關係者の聯合機關を結成するの必要を申合せ其方法立案を座長に一任せられたり。

倉橋惣三著

定價 送料

育ての心

東京、神田區駿河臺三丁目六

刀江書院

倉橋惣三著

幼稚園保育法眞諦

東京、神田區神保町一丁目六七

東洋圖書株式會社

倉橋惣三共著
新庄よしこ

日本幼稚園史

三、八〇〇、二〇
同上

倉橋惣三著

幼稚園雜草

東京、日本橋區、大傳馬町

二、五〇〇、一四
内田老鶴圃

日本幼稚園協會編

幼児に聽かせるお話

三、八〇〇、一四
同上

日本幼稚園協會編

幼児の楽しむお話

二、八〇〇、一四
同上

日本幼稚園協會編

幼児發達検査

東京、神田、神保町

一、〇〇〇、八
フレイベル館

淡路圓次郎著

幼児性行評定尺度

一、〇〇〇、二
同上

倉橋惣三監修
保育叢書

菊池ふじの著
徳久孝子著

幼児のための 人形芝居脚本

一、〇〇〇、二
同上

及川ふみ著

幼稚園の手技製作

一、〇〇〇、二
同上

膳眞規子著

自然物おもちゃ

一、〇〇〇、二
同上

和田實著

實驗保育學

一、〇〇〇、二
同上

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽 一
 主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣 三
 附屬幼稚園主事

日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タルントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ躰出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ

第七條 本會ハ毎年一同總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習

會ノ開催
 一、雜誌發行(毎月一回)
 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 會長 一名 會務ヲ總理ス
 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
 第十二條 本會ハ必要ニ應ジ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定規文注

定價

一ヶ月分	金參拾五錢	特等面一頁二等面一頁
半年分	金貳圓拾錢	廣金貳圓金拾圓
一年分	金四圓貳拾錢	廣金貳圓金拾圓
拾貳冊送	金貳圓貳拾錢	廣金貳圓金拾圓
拾貳冊送	金貳圓貳拾錢	廣金貳圓金拾圓

告 告 告
 一、等面一頁一斷り
 二、五圓御斷り
 三、田
 廣告社に御申込下さい

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)
 昭和十五年六月二十八日印刷納本
 昭和十五年七月一日發行
 幼兒の教育 第四十卷 第七號

不許複製 轉載

東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
 編輯者 倉橋 惣 三
 發行所 柴 山 則 常
 印刷者 柴 山 則 常
 印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 會社 杏 林 舍

發行所 日本幼稚園協會

東京市小石川區大塚町三十五
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
 振替口座東京一七二六六番

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。
 一、(對券代用の場合は振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 一、送金の節には第何卷第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に前金切の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

夏休み前からお休みへかけて

涼しいおみやげ品の手技材料と
お子達の歡ぶ保育品のいろいろ

◇團扇用紙——お細工ミ意匠、貼紙やクレオンで意匠し
團扇に作ります。 十 組 金五十錢

◇紙舟用紙——茶ボールに印刷してある厚紙細工用紙、
剪り抜いて開鉞で止め、クレオン及色テープで彩色し
貼合せて水に浮かせる。 十 個 金五十錢

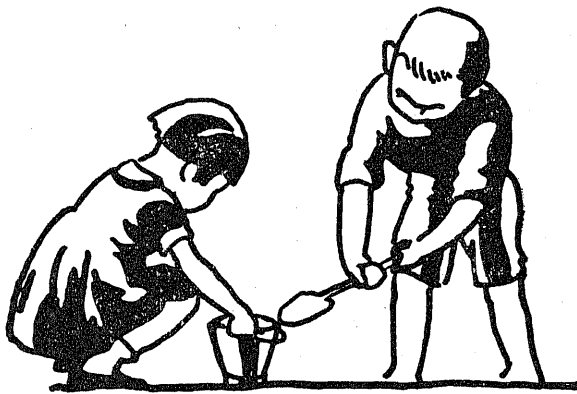
◇七夕祭用品——五色短冊五枚・提灯用紙二枚・銀の星五
枚一組 五十組 金二十圓

◇盆提灯用織紙——形はいろいろ作れます。昔なつかし
い切子燈籠、色は赤と水色絞りの二種
中紙共五十組 金二十圓

◇風車用紙——一〇〇枚 金十八錢

◇金魚と風鈴——後藤牧星先生御考案の新技术
十 組 金三十五錢

(送料實費を申受けます)



株式會社 日本ベビー館

本社 東京・田神・二町保神 電話(33) 三六八二番
支店 大阪・區東・五町後備 電話(24) 九一八三番

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
昭和十五年六月二十八日印刷納本
昭和十五年七月一日發行

定價 參拾五錢